

令和8年度 福富南公園トイレ改築工事

図面リスト

図番	図面名	縮尺 (A3)	図番	図面名	縮尺 (A3)
A-00	表紙・図面リスト	－	E-00	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	－
A-01	木造建築工事特記仕様書1	－	E-01	配置図	1/300
A-02	木造建築工事特記仕様書2	－	E-02	平面図	1/30
A-03	木造建築工事特記仕様書3	－	E-03	立面図	1/50
A-04	木造建築工事特記仕様書4	－	E-04	撤去図	1/30, 200
A-05	木造建築工事特記仕様書5	－			
A-06	木造建築工事特記仕様書6	－			
A-07	木造建築工事特記仕様書7	－			
A-08	建築解体工事特記仕様書	－	M-00	撤去図	1/300
A-09	設計概要・仕上表・付近見取図	1/2, 500	M-01	改修図	1/400
A-10	全体配置図	1/400	M-02	便所詳細図	1/30
A-11	仮設計画図(解体・新築)（参考）	1/300			
A-12	平面図	1/30			
A-13	立面図	1/50			
A-14	矩計図	1/20			
A-15	矩計図 2	1/20			
A-16	展開図 建具リスト	1/50			
A-17	伏図・詳細図	1/20, 50			
A-18	軸組図・仕口部詳細図	1/50			
A-19	解体トイレ 平面図・立面図	1/30			
小計 20枚			小計 8枚		
計 28枚					

工事名					福富南公園トイレ改築工事		No. A-00		
図面名				表紙・図面リスト		縮尺			－
岡山市		都市整備局		住宅・建築部		公共建築課		令和8年5月	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者	
								承認	
								検図	
								製図	

7	防蟻・防蟻処理 [4. 3. 1]	・工場における薬剤の加圧注入等 ・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧注入	適用部材（部位）	薬剤の加圧注入等	・K 2	・K 3	・K 4	・A Q 1	・A Q 2	・A Q 3																							
		・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧式保存処理 保存処理の性能（ ） インサイジング ・適用する ・適用しない																															
		・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 薬剤の種類 ※木造標準仕様書4.3.1(4)(a) ・附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による																															
		適用部材（部位） ・図示による 処理の方法 ※木造標準仕様書4.3.1(4)(b)による																															
		・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部材（部位） ・図示による																															
		・合板、集成材、単板積層材の加圧注入等による防蟻・防蟻処理 保存処理の性能区分 ※K 3又はA Q 2 適用部材（部位） ・図示による																															
・防蟻性能のある断熱材 使用（ ） 適用部材（部位） ・図示による																																	
・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理 木造標準仕様書4.3.2(7)による 配筋 ・図示による 木造標準仕様書4.3.2(7)による 配筋 ・図示による																																	
・土壌の防蟻処理 使用する薬剤（ ） 処理方法及び使用量 帯状散布（帯状の幅：約 cm） 液剤：処理長さ L/m 粒剤：（ ） 面状散布 液剤：処理長さ L/㎡ 粒剤：（ ）																																	
8	防蟻措置 [4. 3. 4]	床下換気 基礎外周部の換気孔 ・木造標準仕様書4.3.4(2)(a)①による ねこ土台 ※防鼠スクリーン又は防虫網付き ・木造標準仕様書4.3.4(2)(1)②による 換気孔 ※防鼠スクリーン又は防虫網付き 小屋裏換気 ・木造標準仕様書 4.3.4(3)による ・(a) ・(b) ・(C) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ ・図示による																															
		・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法 [5. 8. 1]																															
		防火措置の材料及び工法 ・防火措置の材料 ・図示による ・防火措置の厚さ ・図示による ・防火措置の留付け材の種類 ・図示による ・防火措置の留付け間隔 ・図示による ・防火措置の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火措置の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火措置の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火措置の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による																															
		防火措置処理部への二次部材の取付け 防火措置処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火措置処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火措置処理 ・図示による																															
		燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火措置処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火措置処理 ・図示による																															
		燃えしろ層への二次部材の取付け ・設備配管等が燃えしろ層を貫通する場合の処理 ・図示による ・燃えしろ層に取り付ける建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火措置処理 ・図示による																															
		不燃処理木材等 ・図示による																															
		木材と鋼材の接合部分 ・図示による																															
		10	鋼材等の接合 [4. 5. 1]																														
5	軸組構法（壁構造系）工事 ／ 6 軸組構法（軸組構造系）工事	1 現寸図 [5. 4. 2] [6. 4. 2]	・床書き現寸図を作成する	丸太組構法工事	4 各種ボルトの工法 [7. 5. 9]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた座金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付方法 ・図示による	12 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [8. 5. 11]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し																									
		2 仕口及び継手の工法 [5. 4. 5] [6. 4. 5]	・仕口及び継手の工法 ※図示		5 ラグスクリーウの工法 [7. 5. 10]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーウの取付方法 ・図示による	9 CLT パネル工法工事	1 孔あけ加工 [9. 4. 4]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書表9.4.1による ・図示による ドリフトピンの孔径 ※軸径と同径 ・図示による 引きボルトの孔径 ※軸径+5～10mm ・図示による																								
		3 孔あけ加工 [5. 4. 6] [6. 4. 6]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書表5.4.2Iによる ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示		6 ドリフトピンの工法 [7. 5. 12]	径 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付方法 ・図示による			2 表面仕上げ [9. 4. 5] [18. 12. 2]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材（部位）（ ） ・サンダー掛け仕上げ 適用部材（部位）（ ） 見え掛り面の表面仕上げの程度 ・標準仕様書 表18.12.1Iによる木材保護塗料塗り 適用部材（部位）（ ） 種別 ・A種 ※B種																							
		4 表面仕上げ [5. 4. 7] [18. 12. 2] [6. 4. 7]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材（部位）（ ） ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材（部位）（ ） ・サンダー掛け仕上げ 適用部材（部位）（ ） 手加工 ・ 見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.1Iによる木材保護塗料塗り 適用部材（部位）（ ） 種別 ・A種 ※B種		7 床束 [7. 7. 2]	床束 [7. 7. 2]				3 アンカーボルトの設置 [9. 5. 3]	埋込み深さ ・図示による 保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ・																						
		5 アンカーボルトの設置等 [5. 5. 3] [6. 5. 3]	見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.1Iによる木材保護塗料塗り 適用部材（部位）（ ） 種別 ・A種 ※B種		8 丸太組構法工事	1 接合具等 [8. 2. 4]				ジャッキボルト 材質 ※S4400（ JIS G 3101 ） ・ ボルト径 ・ 座金の大きさ及び厚さ ・ 面木用スライド金物 材質 ※S4400（ JIS G 3101 ） ・ 垂木と桁との釘接合の接合方法 ・図示による	4 基礎天端均しモルタルの仕上げ [9. 5. 4] [16. 3. 2]	材料 ・木造標準仕様書9.5.4(4)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による																					
		6 基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4] [6. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書5.5.4（イ）による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示 ・柱底均しモルタルの工法 種別 ・A種 ※B種							2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]		断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示	5 建方精度 [5. 5. 7] [6. 5. 7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示 （水平、垂直の誤差の範囲）																			
		7 建方精度 [5. 5. 7] [6. 5. 7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示 （水平、垂直の誤差の範囲）							3 丸太組壁用木材の交差部形状加工 [8. 6. 3]		交差部の位置 ・図示 交差部の形状 ※製造所の仕様 交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ※図示	6 接合金物の工法 [5. 5. 9] [6. 5. 9]	接合金物が面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み ※行わない 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による																			
		8 接合金物の工法 [5. 5. 9] [6. 5. 9]	接合金物が面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み ※行わない 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による							4 木材の表面仕上げ [8. 4. 5]		見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部位（部位）（ ） ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部位（部位）（ ） ・サンダー掛け仕上げ 適用部位（部位）（ ） 手加工 ・ 見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.1Iによる木材保護塗料塗り 適用部位（部位）（ ） 種別 ・A種 ※B種	7 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [9. 5. 10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し																			
		9 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [5. 5. 8, 5. 5. 10] [6. 5. 8, 6. 5. 10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し							9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]		2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]	断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示	5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示	6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入																
		10 各種ボルトの工法 [5. 5. 11] [6. 5. 11]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた座金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による										5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]		ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示		7 飯組立 [8. 4. 9]	・行う ・行わない															
11 ラグスクリーウの工法 [5. 5. 12] [6. 5. 12]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーウの取付方法 ・図示による	9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]	断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示									5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]		ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示		6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入															
12 ドリフトピンの工法 [5. 5. 13] [6. 5. 13]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付方法 ・図示による			9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]			2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]	断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示							5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]			ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示	6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入													
13 火打土台 [5. 6. 2] [6. 6. 2]	・木製の火打土台 見付け平使いとした場合 土台との仕口の形状 ・図示による 留付け釘の種類 ・図示による 留付け方法 ・図示による 鋼製の火打土台 ・図示による							9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]									断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示		5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示	6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入										
14 火打梁 [5. 7. 8, 5. 8. 6] [6. 7. 8, 6. 8. 6]	小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁																	9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]			2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]		断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示	5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示	6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入						
15 床束 [5. 8. 2] [6. 8. 2]	見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.1Iによる木材保護塗料塗り 適用部位（部位）（ ） 種別 ・A種 ※B種				9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]					断面形状 木造標準仕様書図8.4.1Iによる ・（イ） ・（ロ） ・（ハ） ・（ニ） 実形状 ※製造所の仕様 見付け高さ、重なり幅、部材幅 ※図示												5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]		ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピン孔の径 ※ピン径と同径 ・図示		6 継手の補強方法 [8. 4. 7]	・丸太組壁用木材に繋げる継手の方法 ・目違い継ぎ、ひし金物釘打ち ・塵掛あり継ぎ、ボルト締め ・突付け継ぎ、重いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

R08-04									
岡山市建築解体工事特記仕様書			9 施工数量調査 【1. 5. 2】	調査範囲及び調査方法 ※ 図示 調査報告書 提出2部	6 石綿含有建材の除去等	1 適用範囲 【6. 1. 1】	建築設備に使用されている石綿含有材の処理 ・		7 特殊な建設副産物の処理
I. 工 事 概 要			10 技能士 【1. 6. 2】	・とび作業（※一級 ・二級）		2 調査 【6. 1. 3】	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章 4 による ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法		1 フロン 【7. 3. 1】
1. 工事場所 岡山市南区福富中一丁目9番地100 2. 敷地面積 4975㎡ 3. 工事種目			⑪ 完成時の提出図書	完成図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要					フロン類を使用している設備機器 ・パッケージ形空調機と機の冷媒 ・ルームエアコンディショナーの冷媒 ・冷凍機の冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、 <u>同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）</u> を行い、 <u>監督職員に次の書類を提出する。</u> ・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し
様 名 等							材料名		2 特定化学物質等 【7. 3. 1】
① 公衆便所棟			② ① 騒音・粉塵等の対策 【2. 2. 1】	騒音・粉塵等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート 設置範囲及び高さ ・ 図示			分析方法（定性） 分析方法（定量） JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5		1 砂利地業 ＜4. 6. 2＞ ＜4. 6. 3＞
② 屋外設備			2 足場その他 【2. 2. 2】	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。			材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・		2 捨コンクリート地業 ＜4. 6. 4＞ ＜6. 14. 1＞
③ その他			③ 監督職員事務所 【2. 3. 1】	※ 設けない ・既存建物内の一部を使用する（場所 ） ・構内に新設する 備品等は監督職員の指示を受けて設置するものとする。			測定時期、場所及び測定点		3 路 床 ＜2. 2. 2＞ ＜2. 2. 3＞ ＜2. 2. 5＞
			④ 工事用水	構内既存の施設 ☒利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない			適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 （各施工箇所ごと）		4 路 盤 ＜2. 2. 3. 2～3＞ ＜2. 2. 3. 5＞
			⑤ 工事用電力	☒別途引き込みとする ・ 構内既存の施設を利用できる（※ 有償 ・ 無償）			・ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置（処理作業室外の場合） ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		
4. 工事内容			③ 解体施工	1 事前措置 【3. 2. 1】			測定方法		
1. 上記3. 工事種目の建築物等の取りこわしを行う				② 基礎等 【3. 9. 1】	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による		・自動測定器による測定		
2. 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う				③ 杭の解体 【3. 9. 2】	杭の処理 杭の解体方法 ・ 引抜き工法 ・ 破砕工法 引抜いた杭の処理方法 ・ 図示		測定名称 測定方法		
II. 建築工事仕様				④ さく、照明設備等 【3. 10. 1】	さく、照明設備等の撤去 ※ 図示 ・		・測定4 ・測定5 ・測定（ ） ・測定（ ） ・測定（ ） 測定名称		
				⑤ 構内舗装、樹木等 【3. 11. 1】	舗装の路盤の撤去 ・ 行う ・ 行わない 樹木の伐採抜根及び移植 ☑行う ・ 行わない		・ JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称		
				⑥ 地下埋設物・埋設配管 【3. 12. 1】	地下埋設物・埋設配管の撤去 ☑行う ・ 行わない		メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/m i n） 5 10 10 試料の吸引時間（m i n） 30 120 240		
				⑦ 整地・埋戻し及び盛土 【3. 13. 1】	解体後の埋戻し及び盛土 ☑ 行う 整地高さ ・ 現状G L ・ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土・再生コンクリート砂 ・ 現場発生良質土		除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 解体共通仕様書6. 3. 2による		
章 項 目							除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設）		
① 一般共通事項			④ 建設廃棄物の処理	1 処理に注意を要する建設廃棄物 【4. 5. 1】	・せっこうボードの処理 ・石綿含有せっこうボード 6章による ・ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・製造業者に回収委託 ・埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ） ・石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード ・再生資源化（再資源化施設） ・最終処分（管理型最終処分場） 処分施設名称（ ） 所在地（ ）		除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 切断・破砕等以外（ボルトや釘等を撤去し、手作業で取り外す等） 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）		
				⑤ 特別管理産業廃棄物等の処理等	1 分析調査 【5. 1. 2】	現場にてサンプルを採取し、分析調査を行う。 分析調査対象材料 ・ 廃油（採取場所 ） ・ 廃酸、廃アルカリ（採取場所 ） ・ 微量P C B（採取場所 ） ・ ダイオキシン類（採取場所 ） 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所	・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 切断・破砕等以外（ボルトや釘等を撤去し、手作業で取り外す等） 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場）		
					2 特別管理産業廃棄物 【5. 4. 1】	特別管理産業廃棄物の種類、処分等 ・	・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 手作業で取り外し ・ 切断・破砕等 切断・破砕等する場合は、作業場所を隔離し、湿潤な状態を保ちながら作業する。（作業場所の隔離は、負圧に保つ必要はない。）		
				③ P C B含有機器類 【5. 4. 1】	事前調査対象機器 ・ （試料数 個） ・ （試料数 個） 微量P C Bの分析調査 ・	除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）	下記以外は、解体共通仕様書6. 1. 6. 2. 1～6. 2. 4及び6. 2. 6による 除去工法 ・ ※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 超音波ケレン工法（H I E P Aフィルター付き掃除機併用） ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法		
				④ P C B含有シーリング材 【5. 4. 1】	P C B含有シーリング材の分析調査及び撤去 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ・ 第二次判定 専門分析機関にてP C B含有量の分析を行う 分析個数 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 ※図示	除去対象範囲 ※図示 作業場所の隔離 ※行わない ・ 行う 試験施工 ※行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※解体共通仕様書6. 3. 3による 確認及び後片付け ※解体共通仕様書6. 3. 4による	5 アスファルト舗装 ＜2. 2. 4. 2～6＞		
				⑤ 廃油 【5. 4. 1】	廃油の処理 ・ 行う ・ オイルタンク、オイルサービスタンク、機器類等（配管内含む） タンク内部の清掃 ※行う ・ 行わない		除去範囲 ※図示 除去工法 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ		
				⑥ 廃酸・廃アルカリ 【5. 4. 1】	廃酸・廃アルカリの処理 ・ ・ 臭化リチウム（直炊吸収冷水機） ・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液		・ 舗石種類 路面の締固め試験 ※行う ・ 行わない		
				⑦ ダイオキシン類 【5. 4. 1】	サンプリング調査 ・ 解体方法及び処分方法 ・		舗装の種類 路面の厚さ（mm） 路盤材料 車道部 歩道部		
							・アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・カラー舗装 ※図示 ※図示 ・コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・透水性コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・転圧コンクリート舗装 ※図示 ー ・コンクリート平板舗装 ー ※図示 ・舗石種類 路面の締固め試験 ※行う ・ 行わない		
							舗装の種類 車道部の基層 備 考 ・アスファルト舗装 ・無し ・有り		
							アスファルト ・ 再生アスファルト(G) ・ ストレートアスファルト 骨 材 ※碎石 ・ 再生材(G) ・		
							加熱アスファルト混合物等の種類		
							区分 ※一般地域 ・ 寒冷地域		
							表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)		
							基層 ・ 粗粒度アスファルト混合物(20)		
							シールコートの施工 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない		
							工事名 福富南公園トイレ改築工事		N o .
							図面名 建築解体工事特記仕様書		A-08
							岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年5月
							課長 課長補佐 係長 課員 担当書		承認 検図 製図

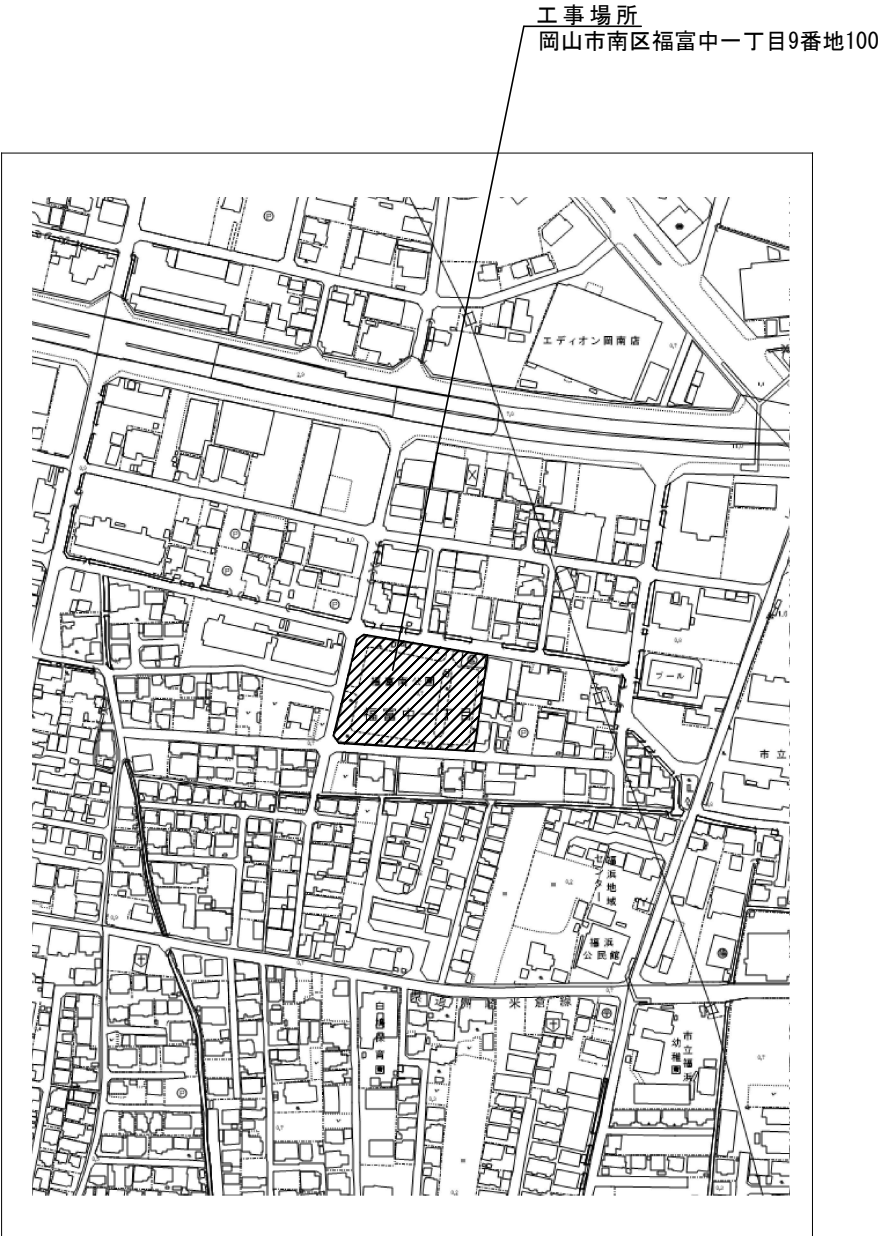
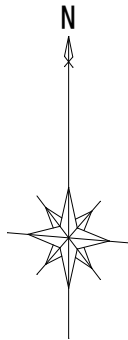
設 計 概 要	
1. 工 事 名	福富南公園トイレ改築工事
2. 工 事 場 所	岡山市南区福富中一丁目9番地100
3. 主 要 用 途	公衆便所
4. 構 造 ・ 規 模	構造：木造 平屋建、基礎：鉄筋コンクリート造
5. 用 途 地 域	市街化区域・準工業地域
6. 防 火 地 域	—

外 部 仕 上 表	
屋 根	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 縦はぜ葺き、野地板（構造用合板t12+杉板材t12、W150）、アスファルトルーフィング 940下地
軒 裏	軒天井ボード（有機質系繊維混入セメント板）t12 一部有孔ボード 塗装品
樋	軒樋：塩ビ角樋120×120、堅樋：カラーVP65φ SUS控金物
外 壁	防火サイディングt16（金具止め工法）コーナー役物共、透湿防水シート、木部：WP塗（2回）
土台水切り	ガルバリウム塗装鋼板t0.35 曲げ加工
基礎立上り	コンクリート打放し（B種）、打継化粧目地
スロープ	モルタル刷毛引き t30

内 部 仕 上 表				
場 所	床	壁	腰壁	天井
簡易型 多機能便所	100角磁器質タイル	珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E（ゆず肌 ローラー塗） ベース パーティクルボード 芯メラン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 （木部：WP塗2回）
小便器便所	100角磁器質タイル	珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E（ゆず肌 ローラー塗） ベース パーティクルボード 芯メラン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 （木部：WP塗2回）
手洗い	100角磁器質タイル	珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E（ゆず肌 ローラー塗） ベース パーティクルボード 芯メラン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 （木部：WP塗2回）
掃除道具入	100角磁器質タイル	珪酸カルシウム板t=10の上、複層塗材E（ゆず肌 ローラー塗） ベース パーティクルボード 芯メラン化粧合板 t=30	50角磁器質タイル	野地板 杉板 t=12 表し 垂木：杉 45 × 90 （木部：WP塗2回）

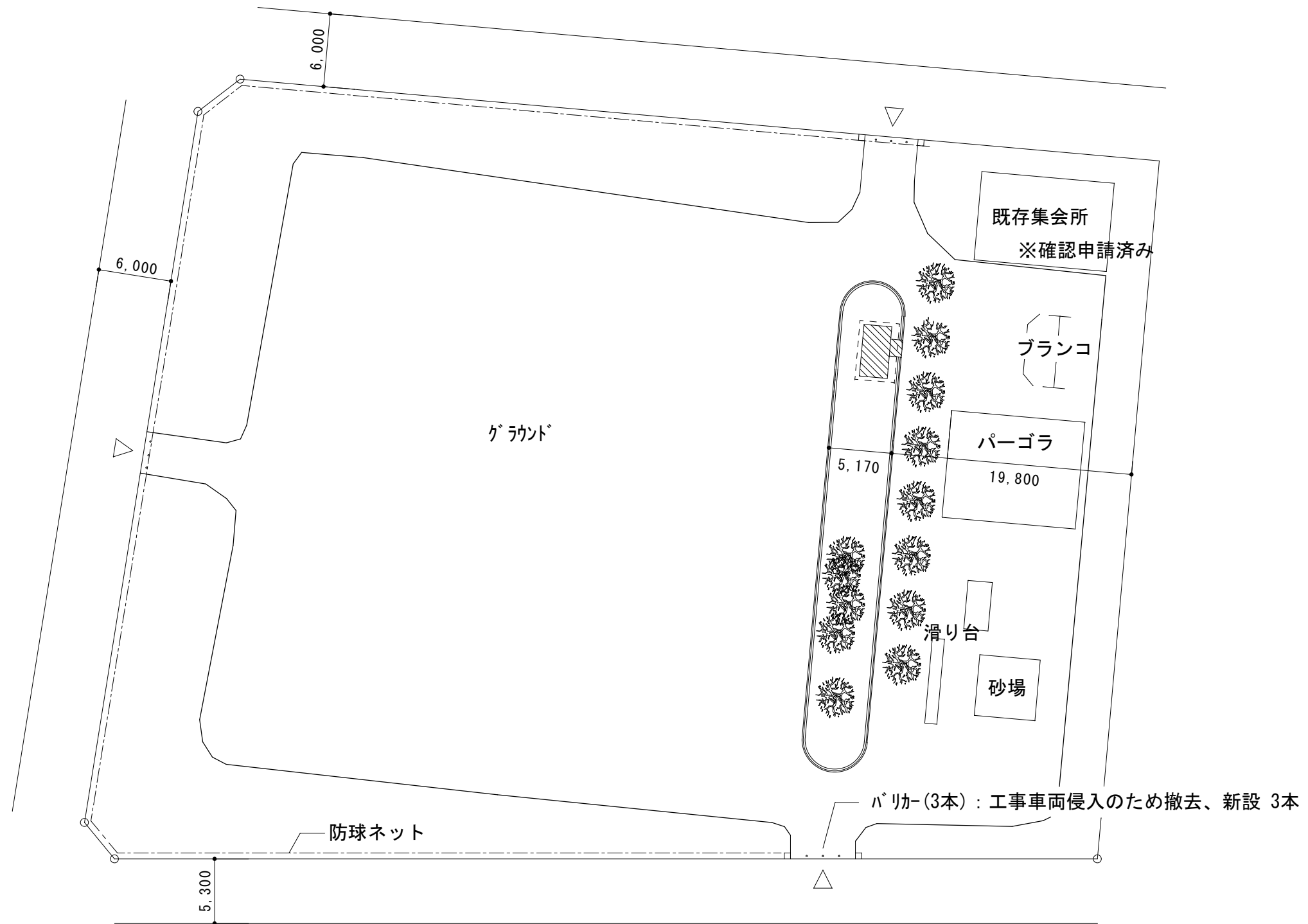
同 等 品 リ ス ト	
床100角タイル・・・	INAX＜アコルティG＞同等品以上
モザイクタイル・・・	INAX＜カラコンモザイクカラー＞同等品以上
外壁サイディング・・・	ニチハエニックスレート16＜ブラチコート＞同等品以上
屋根・・・	JFE鋼板げライン立平333、元旦ビューティ工業TRX4型同等品以上 （不燃認定番号NM-8697）
WP塗・・・	＜キシデーコール＞同等品以上

※いずれの材料も石綿の使用はないものとする。



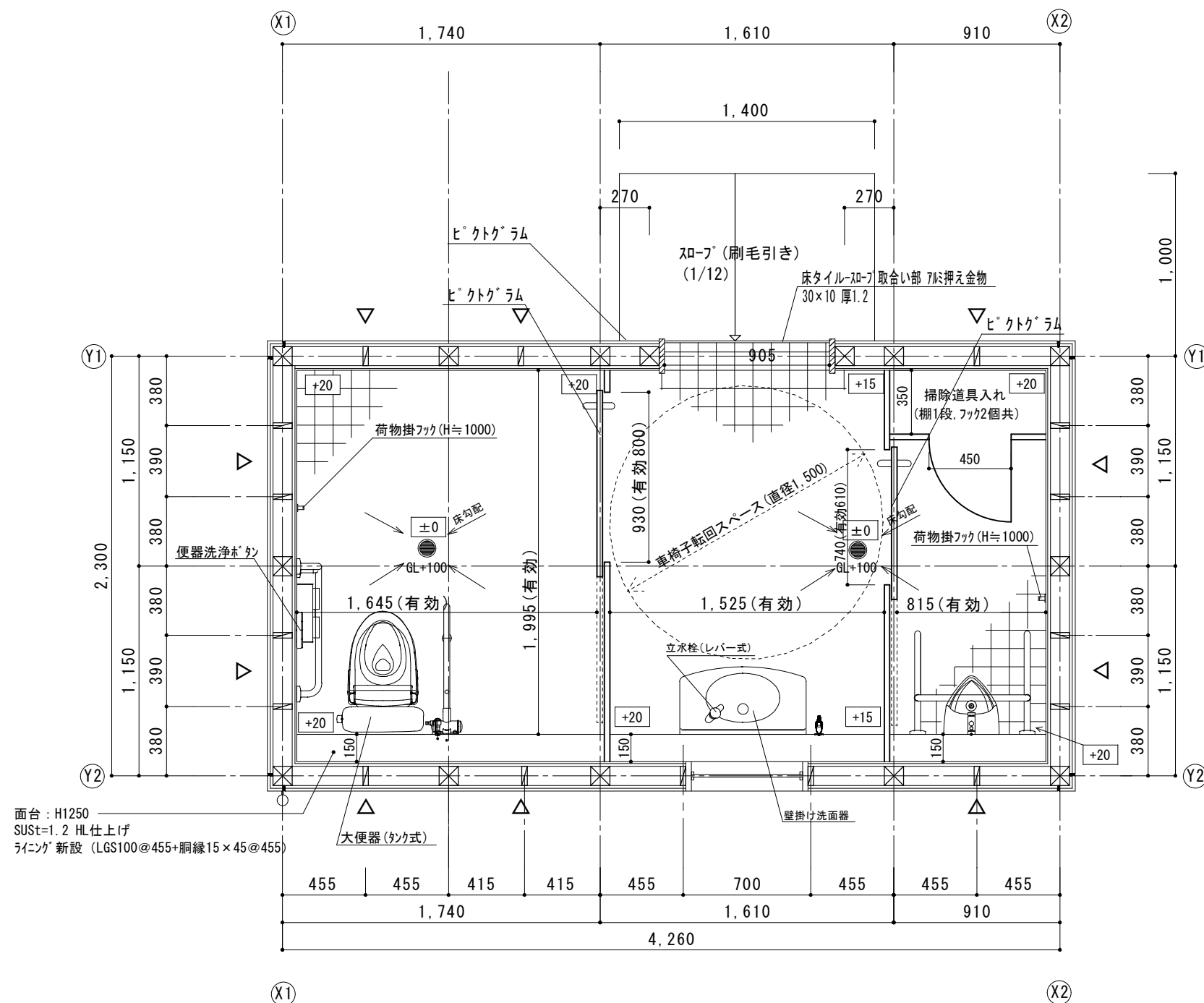
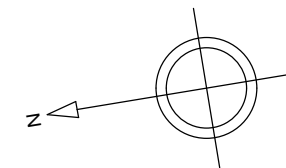
付近見取図S=1/2, 500

工事名					福富南公園トイレ改築工事		No.					
図面名					設計概要・仕上表・付近見取図		縮尺		1/2,500		A-09	
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課		令和8年5月	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認		検図
												製図



新築建物

工事名		福富南公園トイレ改築工事					No.	
図面名		全体配置図			縮尺	1/400		A-10
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和8年5月			
公共建築課	課長	担当課長	主幹	課長補佐	係長	副主査・主任	設計担当	



面台 : H1250
SUS=1.2 HL仕上げ
ライニング 新設 (LGS100@455+胴縁15×45@455)

平面図 S=1/30

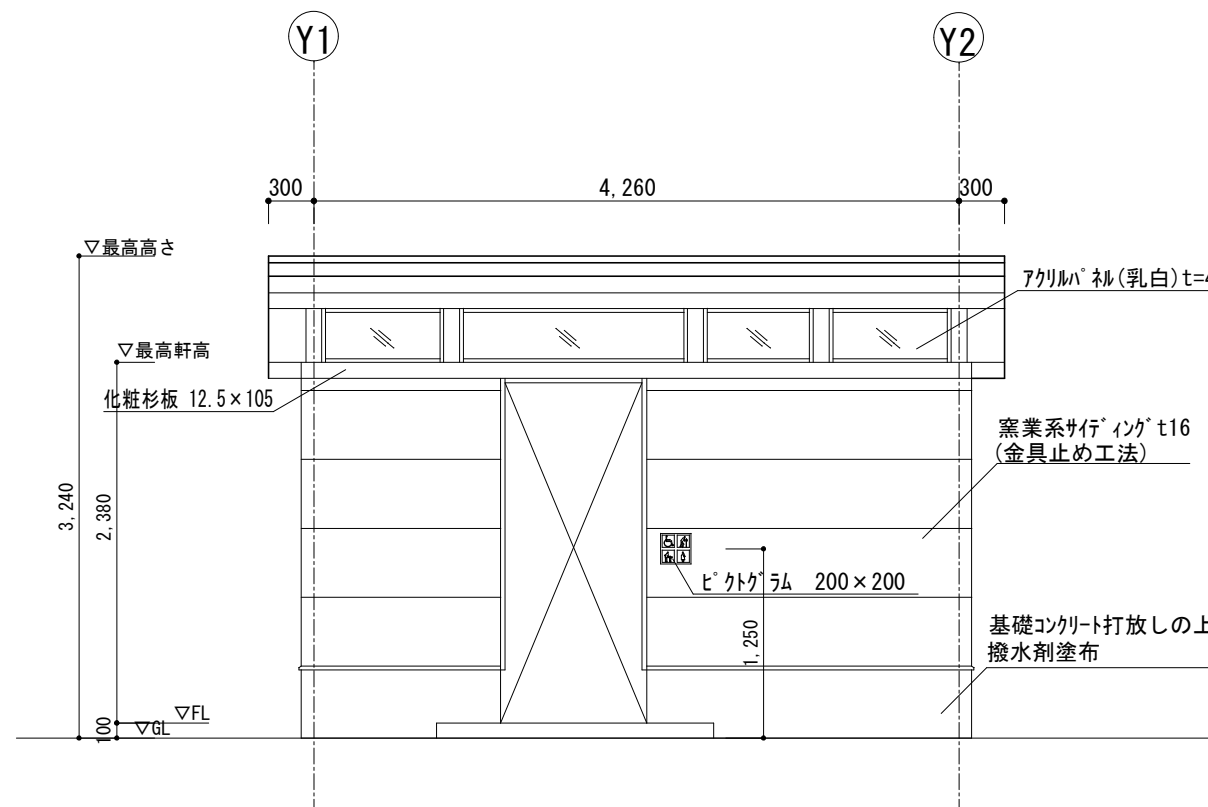
建築面積 : 4.26 × 2.30 = 9.798㎡
延床面積 : 4.26 × 2.30 = 9.798㎡

＜凡例＞
△ : 筋交い

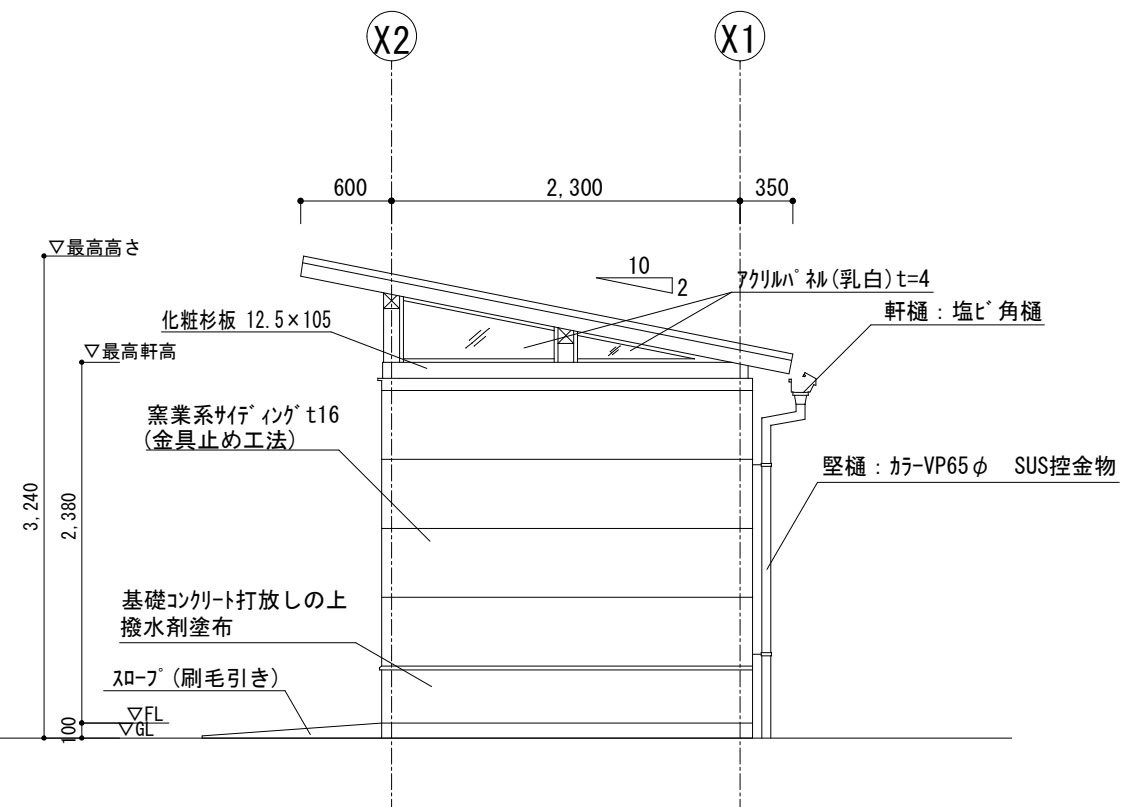
＜仕様＞

- ※水栓のハンドルは全てレバー式とする。
- ※便房内の内装と設備の配色はコンストラストを明確にする。
- ※床水勾配は1/100とする。

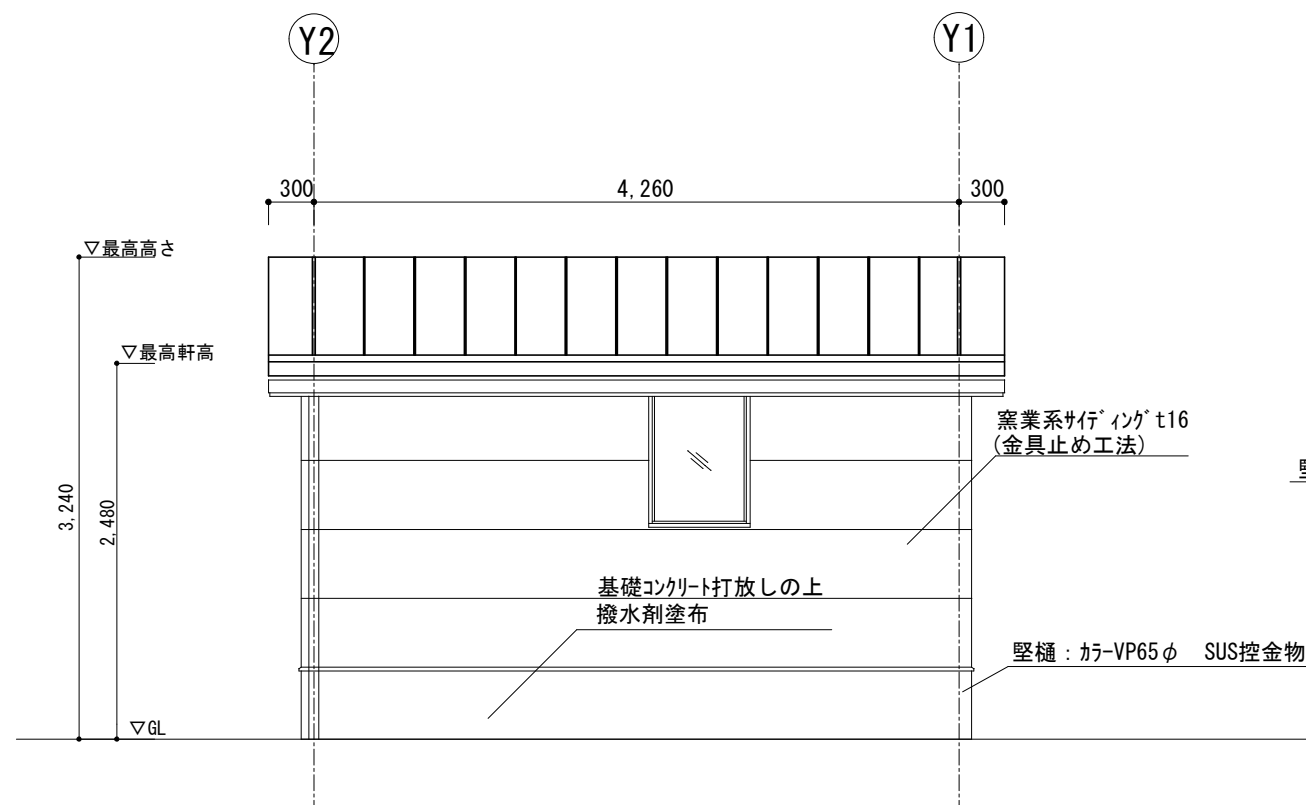
工 事 名		福 富 南 公 園 ト イ レ 改 築 工 事				No. A-12	
図 面 名		平 面 図		縮 尺	1/30		
岡 山 市 都 市 整 備 局 住 宅 ・ 建 築 部					令 和 8 年 5 月		
公 共 建 築 課	課 長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任	設計担当



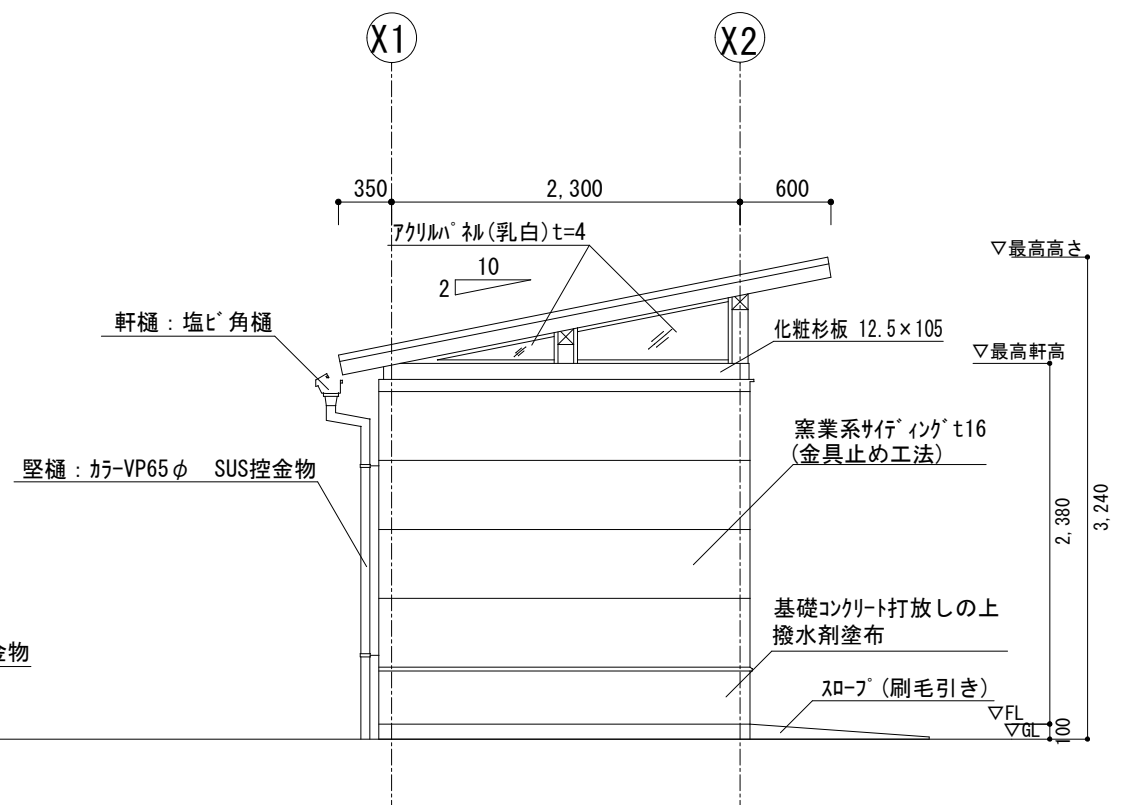
東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50



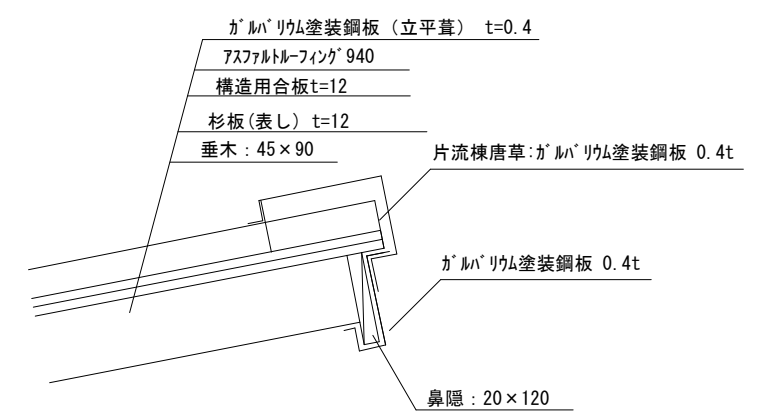
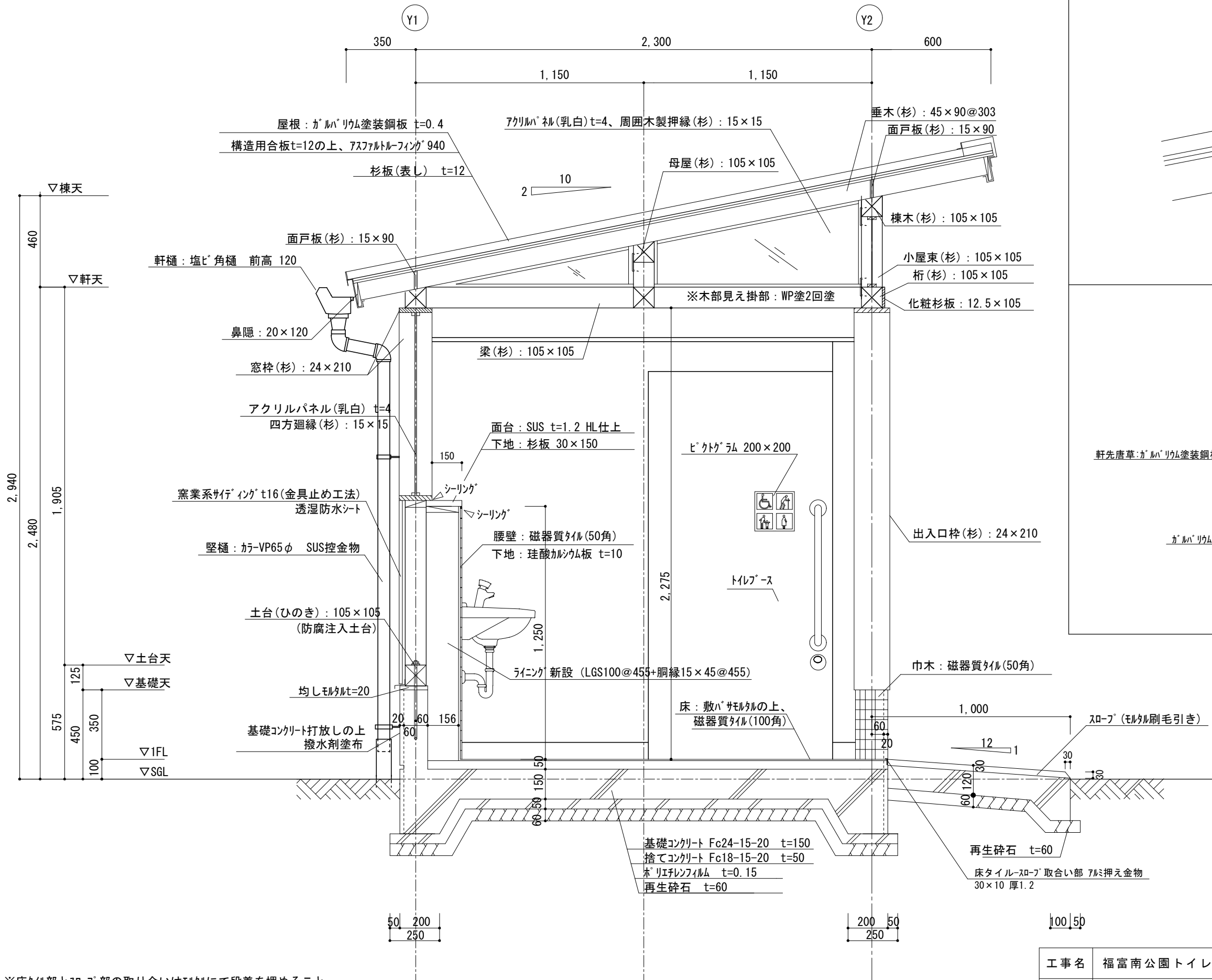
西立面図 S=1/50



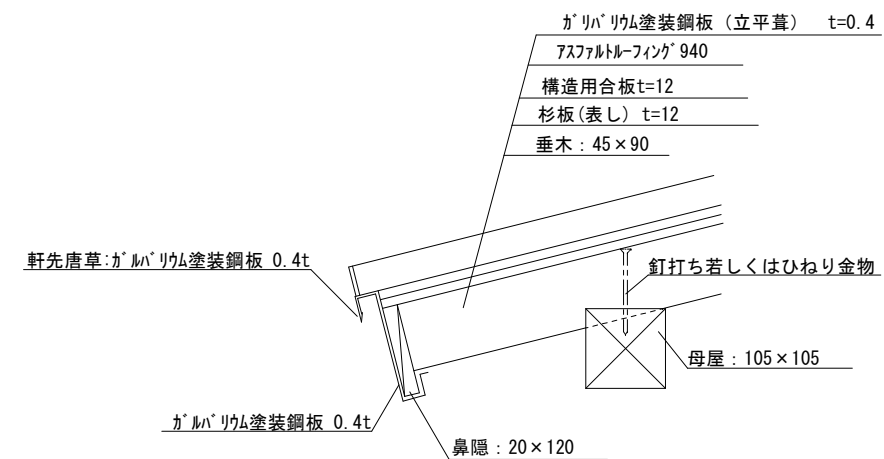
南立面図 S=1/50

※ピクトグラムの表示面の中心高さはGLから1250(1350)程度とする。

工 事 名		福富南公園トイレ改築工事					No.	
図 面 名		立面図			縮尺	A3 : 1/50		A-13
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和8年5月			
公共建築課	課 長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任		設計担当



水上詳細図



軒先詳細図

※床タイル部とスロープ部の取り合いはモルタルにて段差を埋めること。

※衛生器具の壁取付部は必要な下地補強すること

※屋根、土台水切等板金切断部は錆止め処理とする。

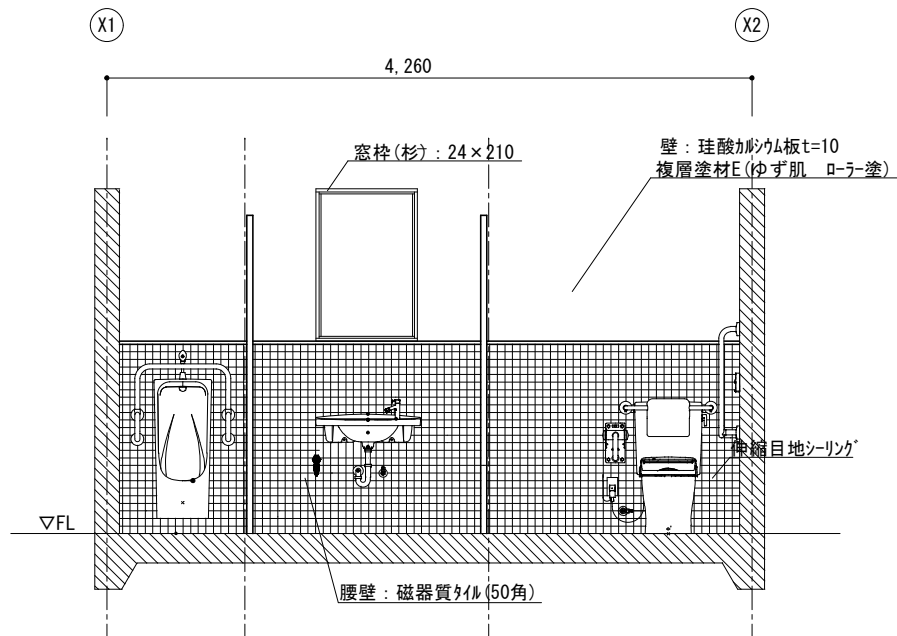
※土台・柱・間柱・筋交等のG Lから1 m以内の木部には防腐・防蟻処理を施す

※木見え掛かり部全面WP塗装(窓枠・出入口枠共)

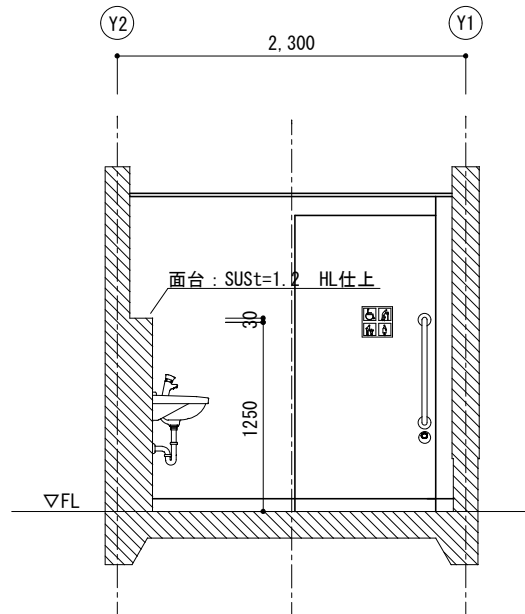
※ピクトグラムの表示面の中心高さはFLから1250(1350)程度とする。

矩計図 S=20

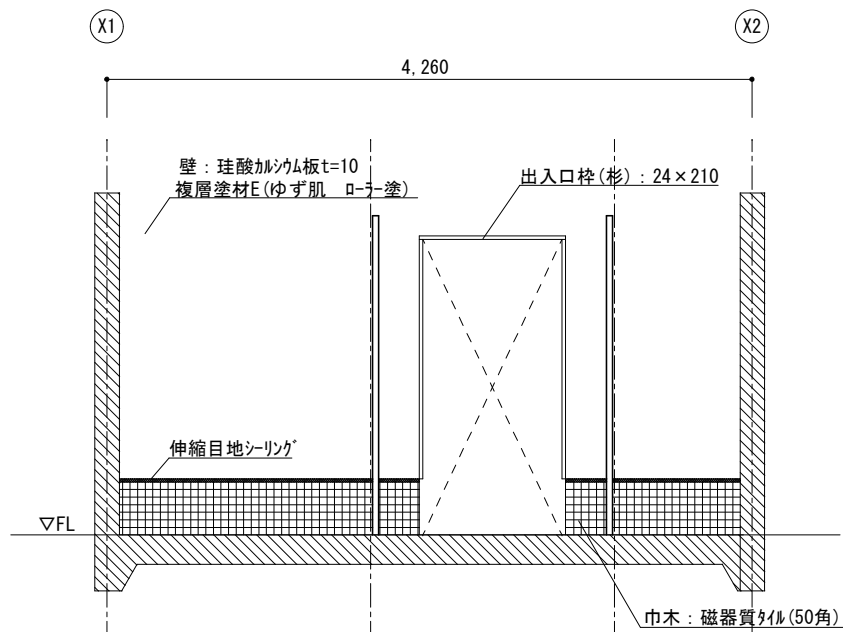
工事名		福富南公園トイレ改築工事					No.	
図面名		矩計図			縮尺	1/20		A-14
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和8年5月			
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任		設計担当



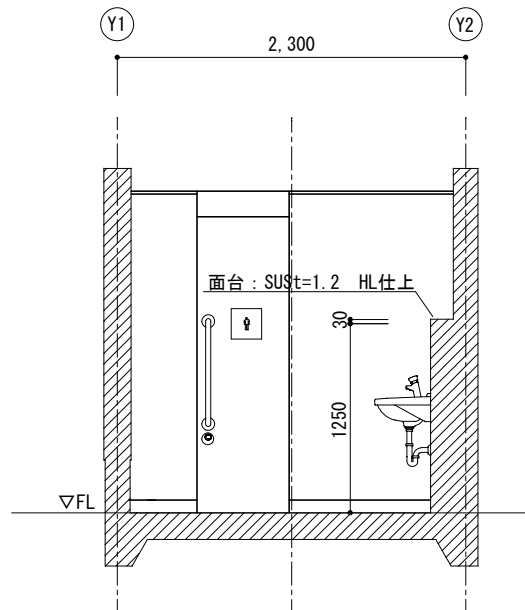
A面展開図 S=1/50



B面展開図 S=1/50

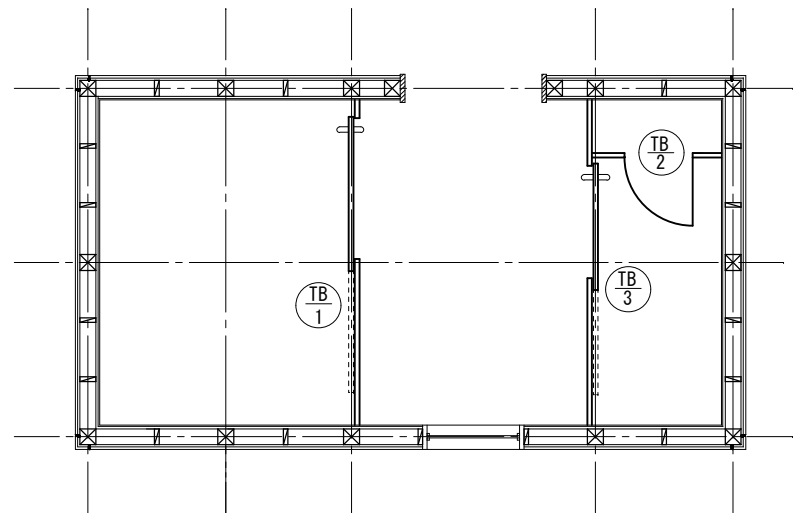
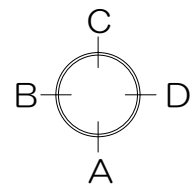


C面展開図 S=1/50



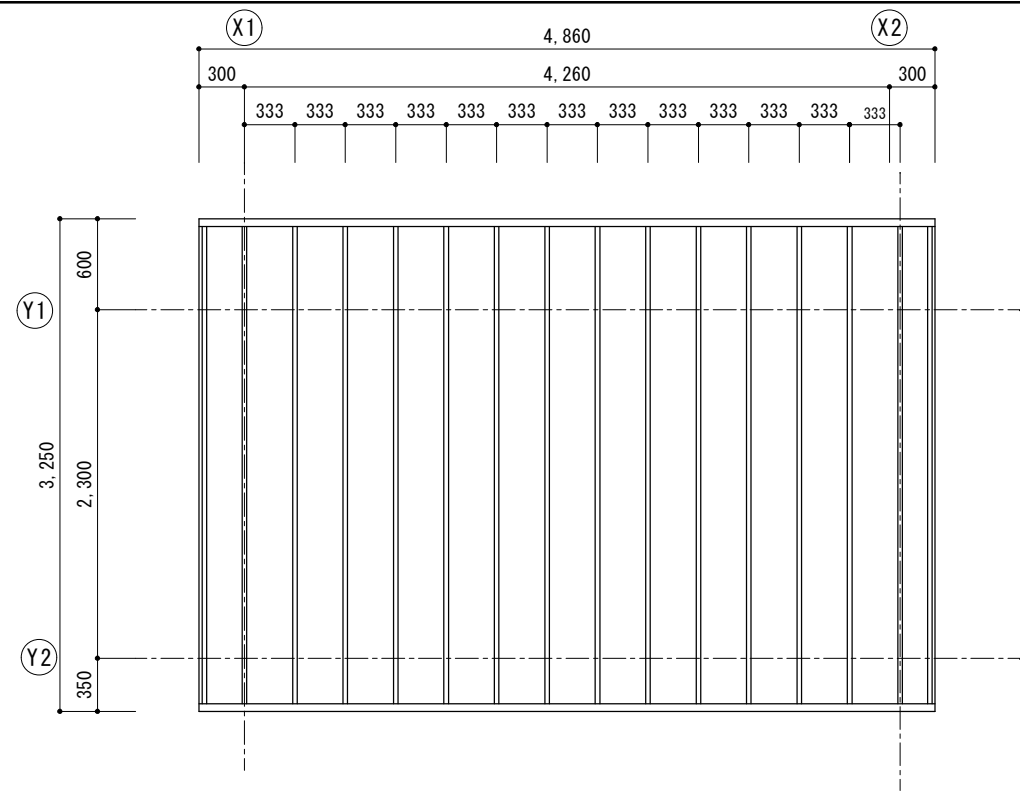
D面展開図 S=1/50

記号	TB 1 トイレブース	TB 2 トイレブース	TB 3 トイレブース
形状・寸法			
材種・仕上	〈扉〉メラミン樹脂化粧板貼t40 裏打ち材付き へーパ-コ 〈固定パネル〉メラミン樹脂化粧板貼t30 パネリング材またはMDF下地	メラミン樹脂化粧板貼t30 パネリング材またはMDF下地	〈扉〉メラミン樹脂化粧板貼t40 裏打ち材付き へーパ-コ 〈固定パネル〉メラミン樹脂化粧板貼t30 パネリング材またはMDF下地
付属金物	SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸ハンドルSUS 表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式	SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸SUS シリンド錠(共通キ) 建具金物一式	SUS巾木 アルミ笠木 ドア四方アルミエッジ 引戸ハンドルSUS 表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式
その他	ビクトグラム(カットニングシート 200×200) (表示面の中心は床面から1250(1350)程度) 壁取合部シーリング打ち		ビクトグラム(カットニングシート 200×200) (表示面の中心は床面から1250(1350)程度) 壁取合部シーリング打ち

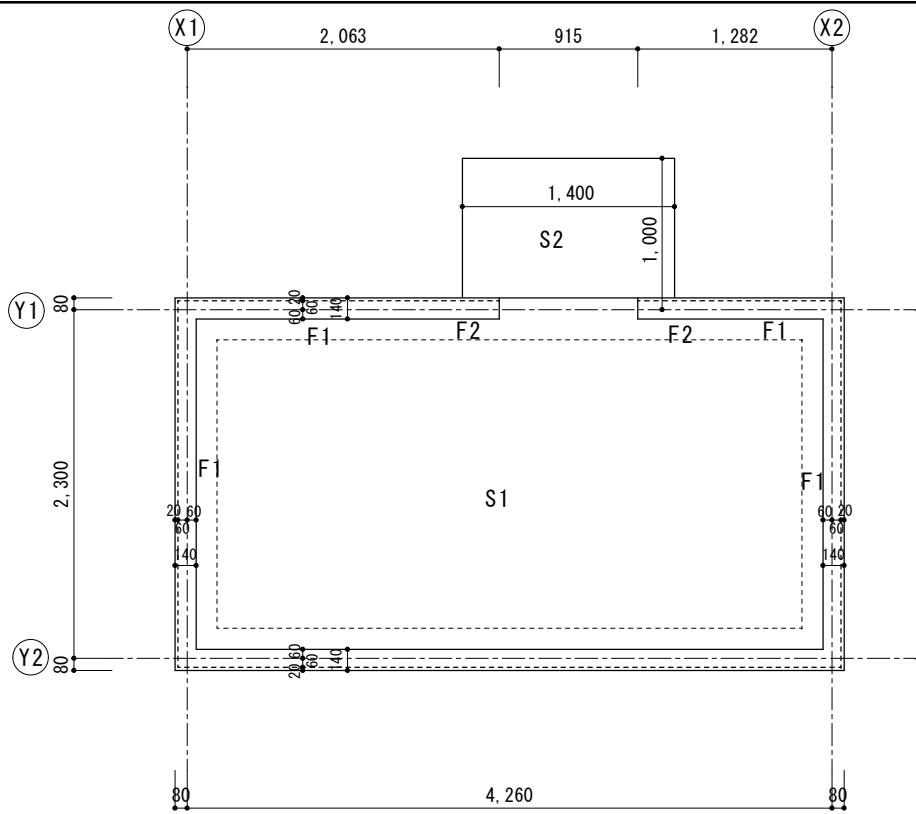


建具キープラン S=1/50

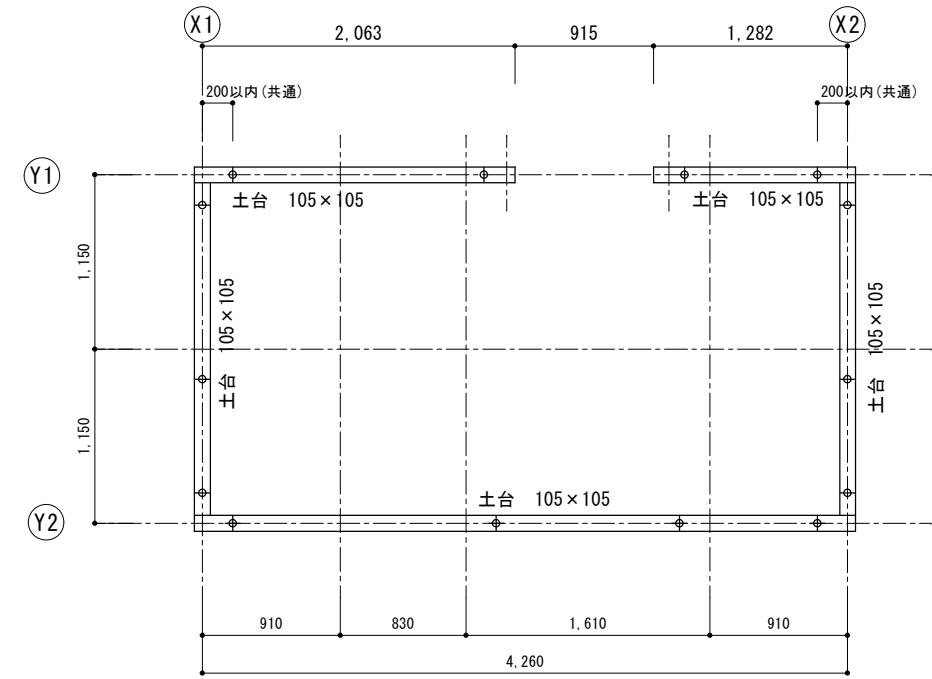
工事名		福富南公園トイレ改築工事					No.	
図面名		展開図 建具リスト			縮尺	1/50		A-16
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和8年5月			
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任	設計担当	



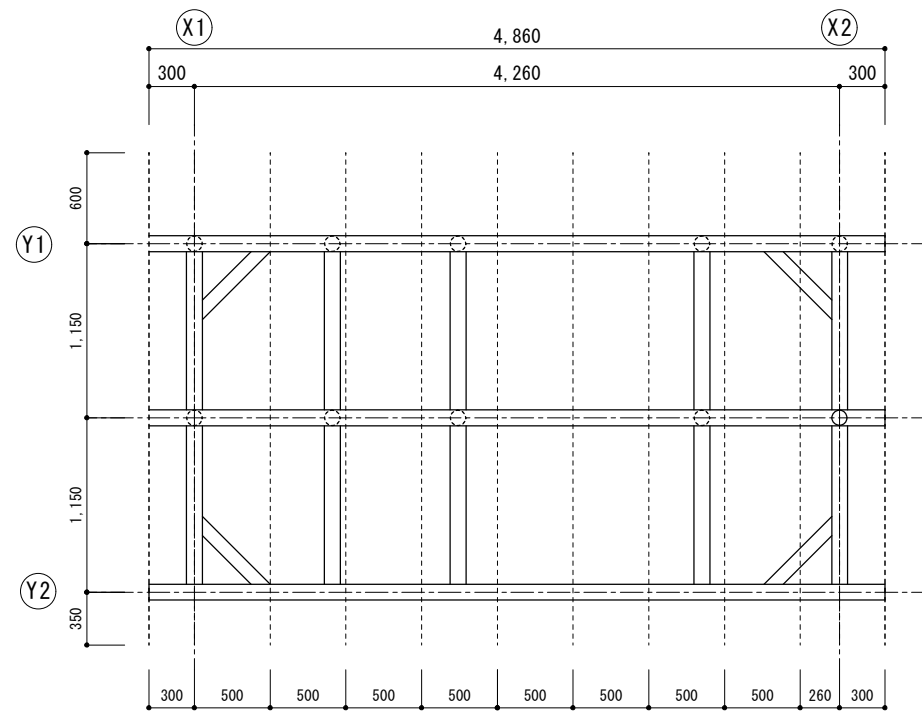
屋根伏図 S=1/50



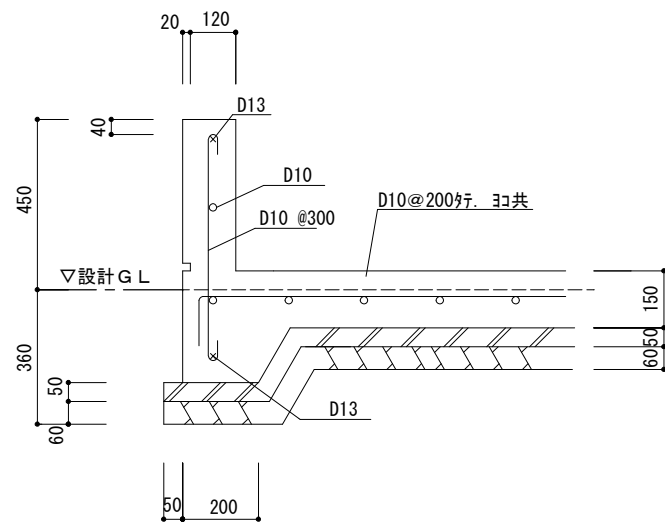
基礎伏図 S=1/50



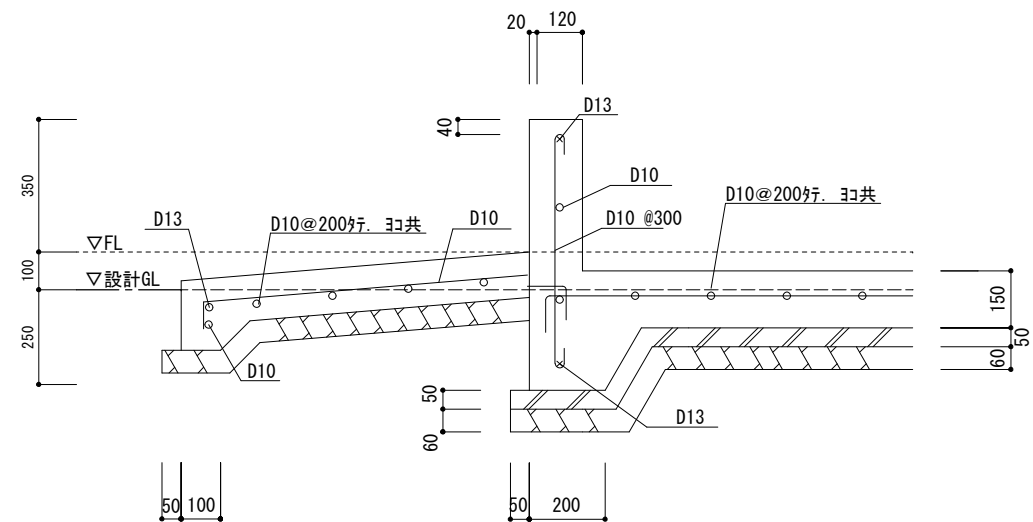
土台伏図 S=1/50



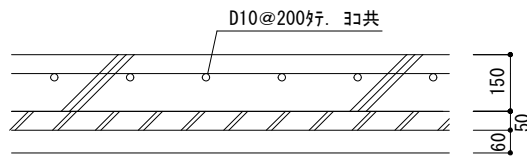
小屋伏図 S=1/50



F1 詳細図 S=1/20



F2・S2 詳細図 S=1/20

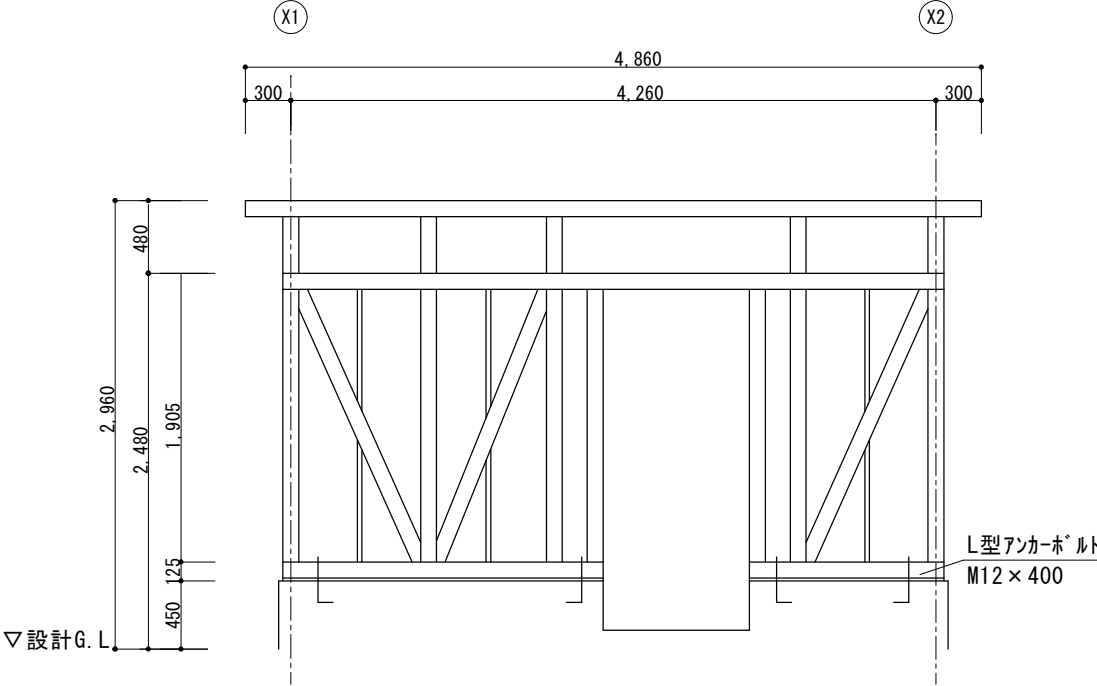


S1 詳細図 S=1/20

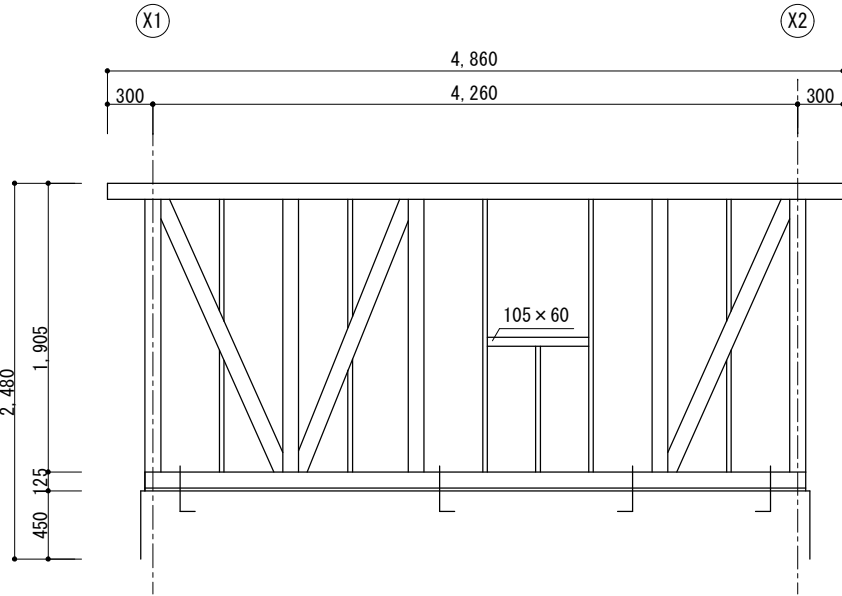
凡例----- 垂 木：杉 45× 90
○ 小屋束：杉 105× 105
火打梁：杉 90× 90

※部材は一等材とし、寸法は挽き立て寸法とする。

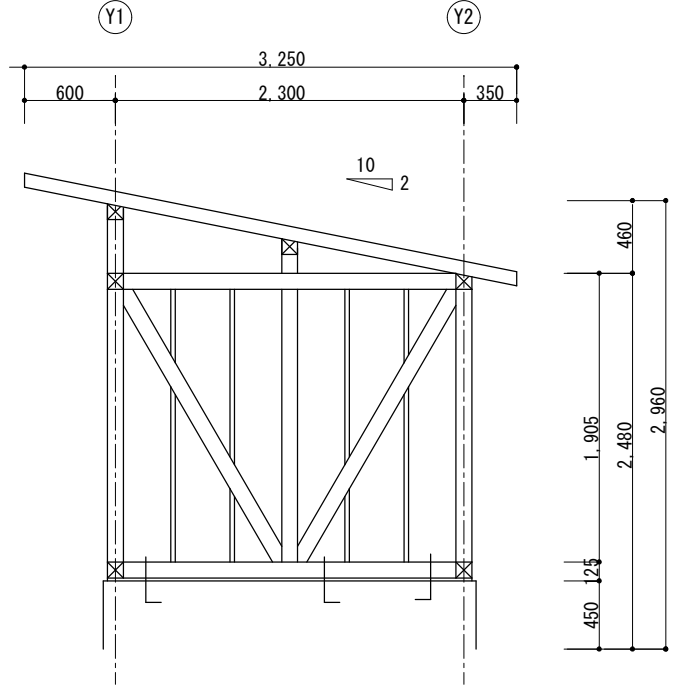
工事名		福富南公園トイレ改築工事					No. A-17	
図面名		伏図・詳細図			縮尺	1/50 1/20		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部						令和8年5月		
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	副主査・主任		設計担当



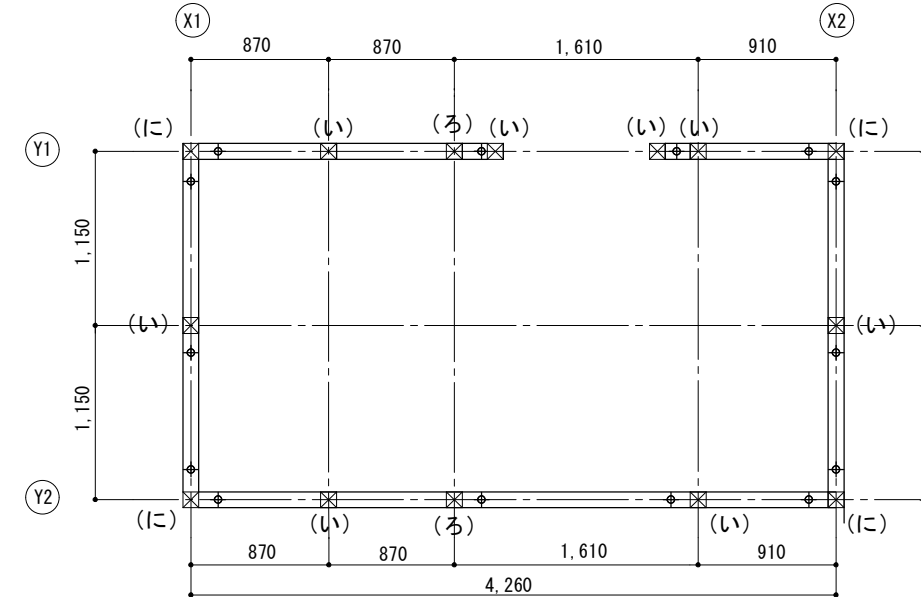
Y1 通 軸組図 S=1/50



Y2 通 軸組図 S=1/50



X1 X2 通 軸組図 S=1/50



柱頭柱脚金物仕様位置図 S=1/50

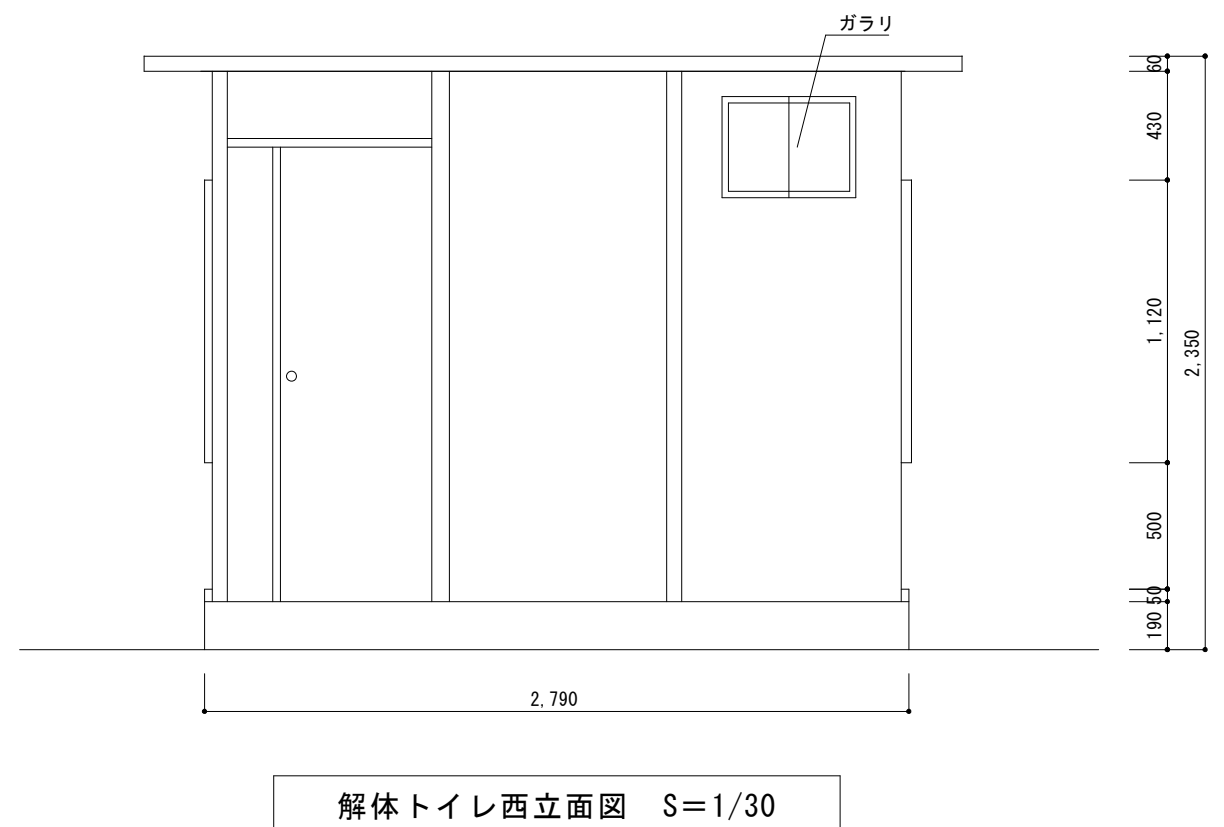
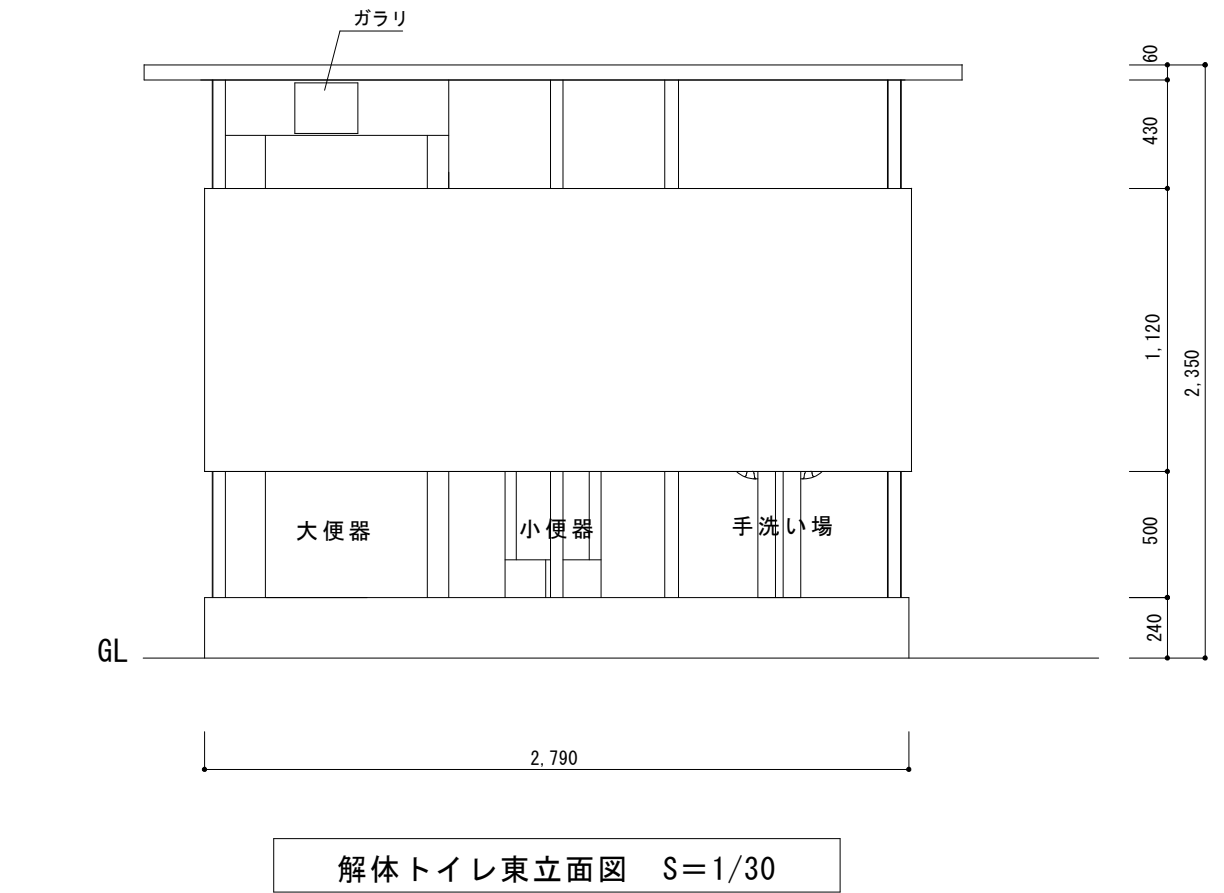
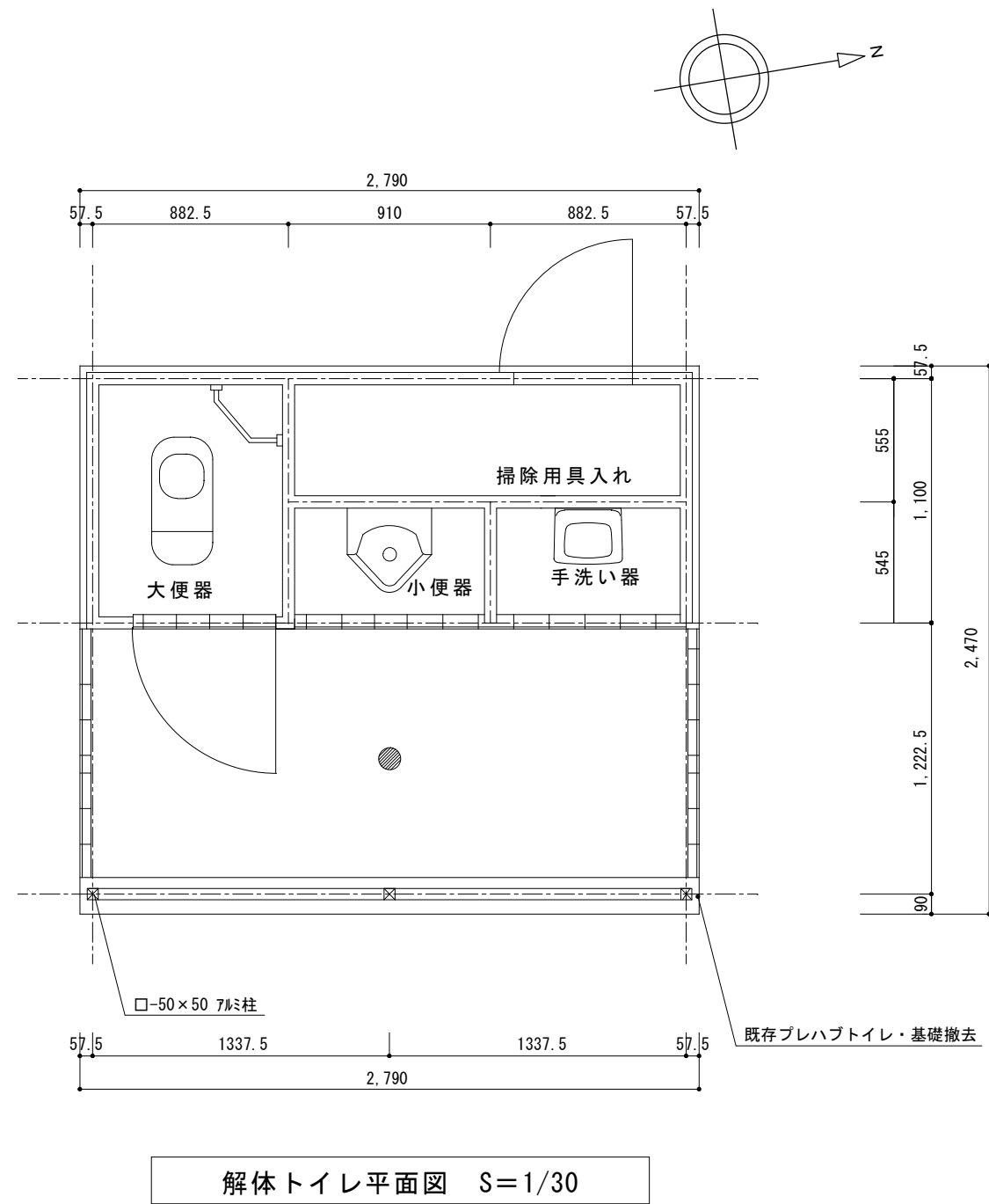
柱頭柱脚接合補強金物（建築基準法平12建告1460号）

符号	仕 様	必要耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し 又は かすがい	0.0
(ろ)	かど金物	3.4
(は)	山形プレート	5.1
(に)	羽子板ボルト 又は 短冊金物	7.5
(ほ)～(ぬ)：(略)		
上記仕様について、耐力上同等品（ただし認定品）に替えることは可とする		

【部材リスト（構造材）】	
土台（ひのき）	105×105（防腐注入土台）
柱（杉）	105×105
間柱（杉）	30×105
筋交（杉）	35×105
梁（杉）	105×105
桁（杉）	105×105
母屋（杉）	105×105
棟木（杉）	105×105
束（杉）	105×105
垂木（杉）	45× 90
火打梁（杉）	90× 90

【特記事項】
※木材は県産材（地域材）の使用を原則とする。
※構造材は一等材とし、寸法は挽き立て寸法とする。
※造作材はかな掛け仕上げとし、寸法は仕上がり寸法とする。
※仕上材見掛け部のみ、木材保護塗料2回塗りとする。
※土台・柱・間柱・筋交等のG Lから1 m以内の本部には防腐・防蟻処理を施すこと。
※構造材はK D材とし、含水率は2 0 %以下とする
※接合金物は認定金物（Z, S, C, Dマ-ク表示金物）を使用すること。
（使用する金物については、材料・取付カ所を明確にした使用承諾願いを事前に提出し、市監督員の承諾を得ること。）

工事名 福富南公園トイレ改築工事						No. A-18
図面名 軸組図・仕口部詳細図				縮尺 1/50		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部					令和8年5月	
公共建築課	課長	担当課長	主 幹	課長補佐	係 長	



【特記事項】

- ・既存トイレは参考図であり、現地で確認を行うこと。

工事名	福富南公園トイレ改築工事				No. A-19		
図面名	解体トイレ 平面図・立面図			縮尺 1/30			
岡山市		都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築設備工事（電気）仕様書						
I 工 事 概 要						
1 工 事 場 所 岡山市南区福富中一丁目9番地100						
2 建 物 概 要						
建 物 名 称	構 造	階 数	無人・有人	延べ面積（㎡）	消防法令別表1	備 考
便所	木造	1	無人	9.79		
合計						
3 工 事 種 目 （○印のついたものを適用する）						
建 物 別 及 び 屋 外	工	事	種	別		
工事項目	便 所				屋 外	
○電 灯 設 備	一 式					
・動 力 設 備						
・電気自動車用充電設備						
・受 変 電 設 備						
・電 力 貯 蔵 設 備						
・発 電 設 備						
・太陽光発電設備						
・雷 保護 設 備						
・構内情報通信網設備						
・構 内 交 換 設 備						
・映像音響設備						
・拡 声 設 備						
・情 報 表 示 設 備						
・テレビ共用受信設備						
・インターホン設備						
・火災通知設備						
・警 備 配 管 設 備						
○構内配電経路					一 式	
・構 内 通 信 経 路						
・誘 導 支 援 設 備						
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所

2 建 物 概 要

岡山市南区福富中一丁目9番地100

建 物 名 称	構 造	階 数	無人・有人	延べ面積 (㎡)	消防法令別表1	備 考
便所	木造	1	無人	9.79		
合計						

3 工 事 種 目 （○印のついたものを適用する）

建物別及び屋外	工 事 種 別				
工事種目	便 所				屋 外
○電 灯 設 備	一 式				
・動 力 設 備					
・電気自動車用充電設備					
・受 変 電 設 備					
・電力貯蔵設備					
・発 電 設 備					
・太陽光発電設備					
・雷 保 護 設 備					
・構内情報通信網設備					
・構 内 交 換 設 備					
・映像音響設備					
・拡 声 設 備					
・情報表示設備					
・テレビ共同受信設備					
・インターホン設備					
・火 災 報 知 設 備					
・警備配管設備					
○構内配電線路					一 式
・構内通信線路					
・誘導支援設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管理設備					

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築設備工事標準図（電気設備工事最新版）及び、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版による。

2 特 記 仕 様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。

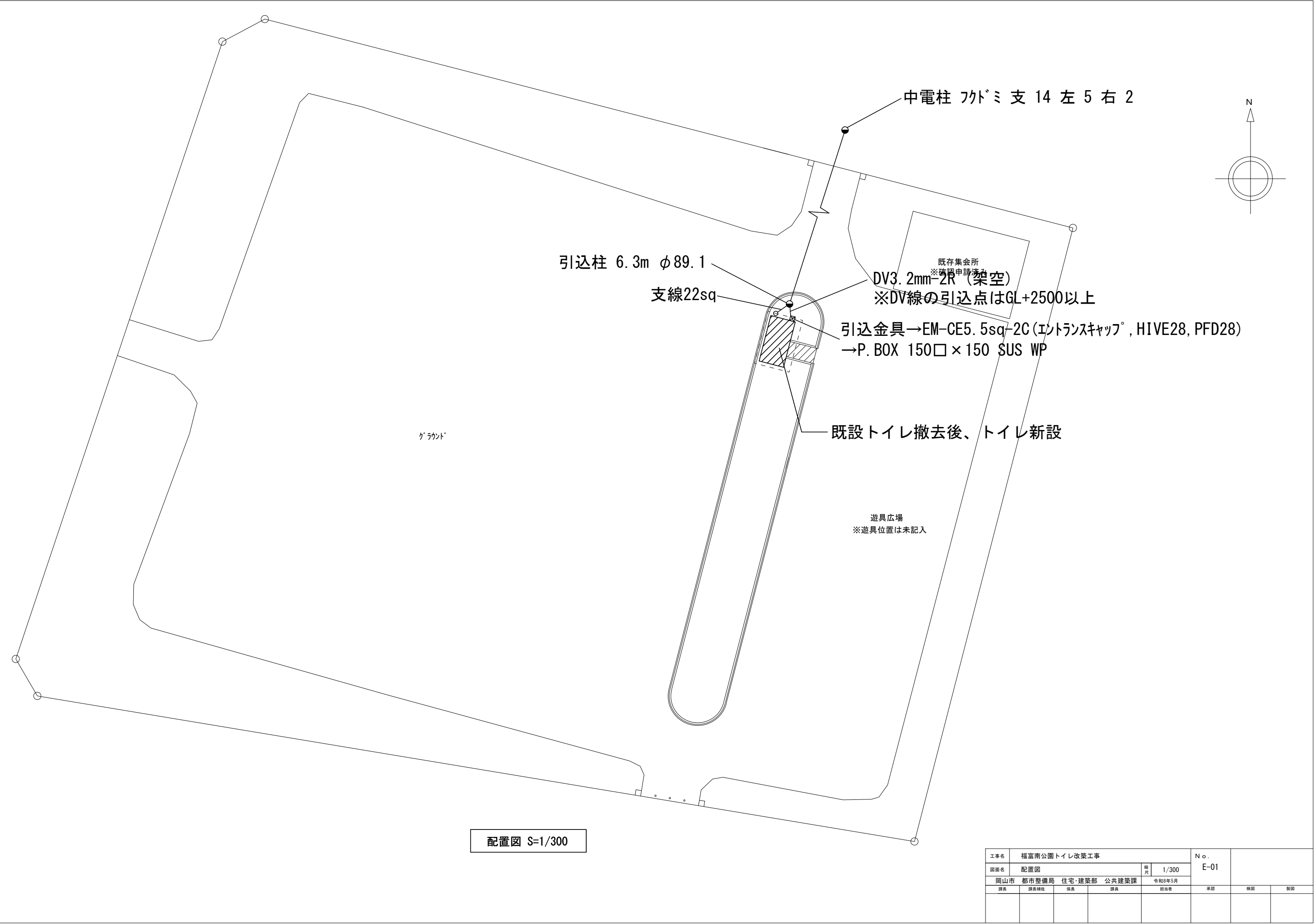
一般共通事項

⑦	接 地 極	下記による。																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接 地 の 種 類</th> <th>記 号</th> <th>接 地 抵 抗 値</th> <th>接 地 の 種 類</th> <th>記 号</th> <th>接 地 抵 抗 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 共 同 接 地</td> <td>E_{AD}</td> <td>10Ω以下</td> <td>・ 雷 保 護 用</td> <td>E_{LA}</td> <td>10Ω以下</td> </tr> <tr> <td>・ 共 同 接 地</td> <td>E_{AD}・E_{ELB}</td> <td>2Ω以下</td> <td>・ 交 換 機 用</td> <td>E_t</td> <td>10Ω以下</td> </tr> <tr> <td>・ 第 A 種</td> <td>E_A</td> <td>100Ω以下</td> <td>・ 通 信 用</td> <td>E_{A_t}</td> <td>100Ω以下</td> </tr> <tr> <td>・ 第 B 種</td> <td>E_B</td> <td>9Ω以下</td> <td>・ 送信用(伝呼用増幅器)</td> <td>E_{D_t}</td> <td>100Ω以下</td> </tr> <tr> <td>○ 第 D 種</td> <td>E_D</td> <td>100Ω以下</td> <td>・ 測 定 用</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 第 C 種</td> <td>E_C</td> <td>100Ω以下</td> <td>○ E_{LCB}回路用</td> <td>E_{DELB}</td> <td>1000Ω以下</td> </tr> </tbody> </table>	接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	・ 共 同 接 地	E _{AD}	10Ω以下	・ 雷 保 護 用	E _{LA}	10Ω以下	・ 共 同 接 地	E _{AD} ・E _{ELB}	2Ω以下	・ 交 換 機 用	E _t	10Ω以下	・ 第 A 種	E _A	100Ω以下	・ 通 信 用	E _{A_t}	100Ω以下	・ 第 B 種	E _B	9Ω以下	・ 送信用(伝呼用増幅器)	E _{D_t}	100Ω以下	○ 第 D 種	E _D	100Ω以下	・ 測 定 用	—	—	・ 第 C 種	E _C	100Ω以下	○ E _{LCB} 回路用	E _{DELB}	1000Ω以下																	
接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値																																																							
・ 共 同 接 地	E _{AD}	10Ω以下	・ 雷 保 護 用	E _{LA}	10Ω以下																																																							
・ 共 同 接 地	E _{AD} ・E _{ELB}	2Ω以下	・ 交 換 機 用	E _t	10Ω以下																																																							
・ 第 A 種	E _A	100Ω以下	・ 通 信 用	E _{A_t}	100Ω以下																																																							
・ 第 B 種	E _B	9Ω以下	・ 送信用(伝呼用増幅器)	E _{D_t}	100Ω以下																																																							
○ 第 D 種	E _D	100Ω以下	・ 測 定 用	—	—																																																							
・ 第 C 種	E _C	100Ω以下	○ E _{LCB} 回路用	E _{DELB}	1000Ω以下																																																							
⑧	埋 設 表 示	○ 真銅板製 (避雷設備用及び接地埋設表示) ・ SUS製 ○ 埋設シート (ダブル) ・ 地中配線の埋設表示は 80×80×30.0 のコンクリート杭とする。 取外し再利用機器は溝槽及び絶縁抵抗測定の上で取付のこと。 工事着手前に改修場所の既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。 工事の仕様に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修をする。 ○ 変性エポキシ樹脂プライマー合成品樹脂割合をペイント2回塗り ・ 塗装なし 塗装する部分 ・ 屋上 ・ 屋側 ・ 屋外 ・ 廊下 ・ 機械室 ・ 居室 () 消漏率約7つき仕上げ [めつき付き量 300 g /㎡以上] とする。 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風速などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で構構入行えばよいものとする。 ・ 機器の取付け及び取付け 設計用地震力、機器重量 [kN] に地域係数 0.9 とし、次に示す設計用標準水平地震力を乗じたものとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">・ 特定の施設</th> <th colspan="2">・ 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階 注1) 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2. 0</td> <td>1. 5</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2. 0</td> <td>2. 0</td> <td>2. 0</td> <td>1. 5</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>2. 0</td> <td>1. 5</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中間階</td> <td>機 器</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> <td>1. 0</td> <td>0. 6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1. 5</td> <td>1. 5</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> <td>1. 0</td> <td>0. 6</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1. 0</td> <td>0. 6</td> <td>0. 6</td> <td>0. 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下及び1階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1. 0</td> <td>1. 0</td> <td>1. 0</td> <td>0. 6</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1. 5</td> <td>1. 0</td> <td>1. 0</td> <td>0. 6</td> </tr> </tbody> </table> ・ 上層階とは2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10階～12階の場合は上層階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・ 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 ・ 重要機器とは次のものを示す。(水槽類には原料小出し槽を含む。) ・ 配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・ 通信総合装置 ・ 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 施工後確認試験 行う ・ 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本当たりの短期引張強度の2/3以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ()	設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 注1) 屋上及び塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	地下及び1階	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
設置場所	機器種別	・ 特定の施設			・ 一般の施設																																																							
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階 注1) 屋上及び塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																							
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5																																																							
	屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																							
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																							
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0																																																							
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																							
	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																							
地下及び1階	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6																																																							
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																							
25	あ と 施 工 ア ン カ ー	注1) 注2) 注3) 注4) 注5) 注6) 注7) 注8) 注9) 注10) 注11) 注12) 注13) 注14) 注15) 注16) 注17) 注18) 注19) 注20) 注21) 注22) 注23) 注24) 注25) 注26) 注27) 注28) 注29) 注30) 注31) 注32) 注33) 注34) 注35) 注36) 注37) 注38) 注39) 注40) 注41) 注42) 注43) 注44) 注45) 注46) 注47) 注48) 注49) 注50) 注51) 注52) 注53) 注54) 注55) 注56) 注57) 注58) 注59) 注60) 注61) 注62) 注63) 注64) 注65) 注66) 注67) 注68) 注69) 注70) 注71) 注72) 注73) 注74) 注75) 注76) 注77) 注78) 注79) 注80) 注81) 注82) 注83) 注84) 注85) 注86) 注87) 注88) 注89) 注90) 注91) 注92) 注93) 注94) 注95) 注96) 注97) 注98) 注99) 注100) 注101) 注102) 注103) 注104) 注105) 注106) 注107) 注108) 注109) 注110) 注111) 注112) 注113) 注114) 注115) 注116) 注117) 注118) 注119) 注120) 注121) 注122) 注123) 注124) 注125) 注126) 注127) 注128) 注129) 注130) 注131) 注132) 注133) 注134) 注135) 注136) 注137) 注138) 注139) 注140) 注141) 注142) 注143) 注144) 注145) 注146) 注147) 注148) 注149) 注150) 注151) 注152) 注153) 注154) 注155) 注156) 注157) 注158) 注159) 注160) 注161) 注162) 注163) 注164) 注165) 注166) 注167) 注168) 注169) 注170) 注171) 注172) 注173) 注174) 注175) 注176) 注177) 注178) 注179) 注180) 注181) 注182) 注183) 注184) 注185) 注186) 注187) 注188) 注189) 注190) 注191) 注192) 注193) 注194) 注195) 注196) 注197) 注198) 注199) 注200) 注201) 注202) 注203) 注204) 注205) 注206) 注207) 注208) 注209) 注210) 注211) 注212) 注213) 注214) 注215) 注216) 注217) 注218) 注219) 注220) 注221) 注222) 注223) 注224) 注225) 注226) 注227) 注228) 注229) 注230) 注231) 注232) 注233) 注234) 注235) 注236) 注237) 注238) 注239) 注240) 注241) 注242) 注243) 注244) 注245) 注246) 注247) 注248) 注249) 注250) 注251) 注252) 注253) 注254) 注255) 注256) 注257) 注258) 注259) 注260) 注261) 注262) 注263) 注264) 注265) 注266) 注267) 注268) 注269) 注270) 注271) 注272) 注273) 注274) 注275) 注276) 注277) 注278) 注279) 注280) 注281) 注282) 注283) 注284) 注285) 注286) 注287) 注288) 注289) 注290) 注291) 注292) 注293) 注294) 注295) 注296) 注297) 注298) 注299) 注300) 注301) 注302) 注303) 注304) 注305) 注306) 注307) 注308) 注309) 注310) 注311) 注312) 注313) 注314) 注315) 注316) 注317) 注318) 注319) 注320) 注321) 注322) 注323) 注324) 注325) 注326) 注327) 注328) 注329) 注330) 注331) 注332) 注333) 注334) 注335) 注336) 注337) 注338) 注339) 注340) 注341) 注342) 注343) 注344) 注345) 注346) 注347) 注348) 注349																																																										

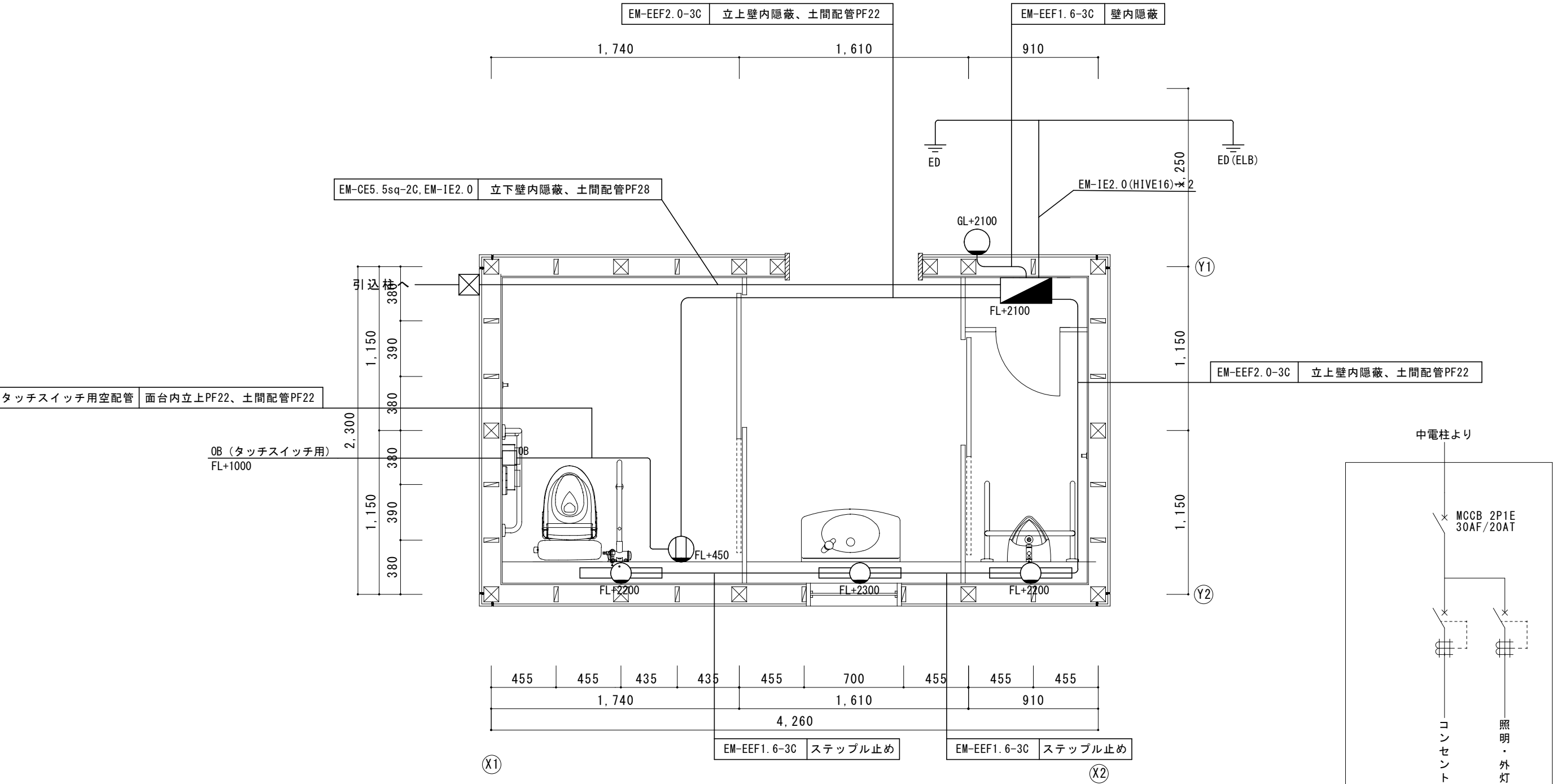
発 電 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. 電 気 方 式	三相3線式 ・ 6kV ・ 200V ・ 60Hz
備	3. 仕 様 明 細	別仕様書による。
	4. チェンブロック天井走行装置 など	・ U字ボルト (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ Iビーム (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ チェンブロック (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 天井走行装置 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ コンクリート製 ・ 鋼板製 (・ 本工事 ・ 別途工事)
備	5. 防 油 堤	・ 防火器 (粉末ABC、面圧式) (・ 10形 ・ 20形 個)
	6. 予 備 品 等	工具 ・ 製造者の標準一式
太 陽 光 発 電 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 架 台 ・ PV支持架台 ・ 撤 去
	2. 太 陽 電 池 ア レ イ	・ 出 力 kW ・ 設備面積 m ²
備	3. パワーコンディショナー	・ 出 力 kW ・ 電気方式 相 3線式
	4. 系 統 連 携	・ 1 φ ・ 3 φ
備	5. 系 統 連 携 保 護	・ O V G R ・ R P P R
	6. 逆 潮 流	・ 有 ・ 無
備	7. 表 示 装 置	・ 有 ・ 無
	8. 計 測 装 置	・ 温度計 (直射日光の当たる場所には禁忌) ・ 日射計
雷 保 護 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 受 雷 部 取 付 ・ 接 地 極 埋 設 ・ 撤 去
	2. 受 雷 部	・ 突 針 ・ 水 平 導 体 又 は メ ッ シュ 導 体 ・ 構 造 体 利 用
備	3. 引 下 げ 導 線	・ 引き下げ導線 ・ 建築構造体利用 ・ 試験用接続端子箱
	4. 接 地 シ ス テ ム	・ 建築構造体利用 (建築基礎等元時構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。) ・ A型接地極 ・ B型接地極
備	5. 内 部 雷 保 護	・ SPD ・ SPD分層機 ・ 等電位ボンディング
	6. 接 地 電 圧 測 定	・ 接地電圧測定機
構 内 情 報 通 信 網 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 (キャビネット類) ・ 撤 去
	2. ネ ッ ト ワ ー ク	・ 100BASE-TX/FX ・ 1000BASE-T/SX/LX ・ 100BASE-SB/LB/GB/LX/T ・ その他 ()
備	3. 使 用 機 器	・ EM-UTPケーブル ・ 光ファイバー ・ 情報コンセント ・ スイッチング HUB ・ モデム ・ TA ・ 無線LAN ・ IP/TVコネクター ・ その他 ()
	4. 有 線 通 信 機 器	・ 有線通信機器
構 内 交 換 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 呼 び 線 挿 入 ・ 撤 去
	2. ローションションアウトレット	・ 一般電話用 個 ・ ボタン電話用 個 ・ 取付 ・ 納入 ・ ユニコット形 ・ 防水形
備	3. 保 安 器 用 接 地	・ 本工事 ・ 別途工事
	4. 引 留 金 物 等	・ フックボルト ・ アンカーボルト
備	5. 形 式	・ デジタルPBX ・ IP-PBX
	6. 回 線 数	・ 内線 / 回線 ・ 局線 / 回線
備	7. 局 線 表 示 盤	・ 面
	8. 電 話 設 備	・ 多機能電話機 ・ 一般電話機 ・ 玄関機 ・ IP電話器 ・ PHS ・ PHS用アンテナ
備	9. 電 話 機 へ の 配 線	・ 内線電話1台につき次のものを見込む。 ・ TIEF0.65-2C (・ 2.0m ・ m) ・ 2号ワイヤプロテクタ1.5m ・ BTIEE 0.4-4P (・ 2.0m ・ m) ・ 2号ワイヤプロテクタ1.5m
	10. 電 話 機 器	・ 電話機
映 像 音 響 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. 映 像 機 器	・ プレーヤー (・ DVD ・ ブルーレイ) ・ モニタ ・ プロジェクタ ・ カメラ
備	3. 音 響 機 器	・ マイクロホン ・ CDプレーヤー ・ アンテナ ・ ダブルセットデッキ ・ その他 ()
	4. 音 響 機 器	・ 音響機器
拡 声 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. 増 幅 器	・ 増幅器
備	3. マイクロホン	・ マイクロホン
	4. ワイヤレス受信機	・ ワイヤレス受信機
備	5. スピーカー	・ ※ 図面参照
	6. 音 量 調 節 器	・ 音量調節器
備	7. ア ン テ ナ	・ アンテナ
	8. C D プ レ ェ ー	・ CDプレーヤー
情 報 表 示 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. マ ル ト サ イ ン 装 置	・ 壁掛形 ・ 自立形
備	3. 出 退 表 示 装 置	・ 縦書 ・ 横書 ・ 発信器 ・ 埋込形 ・ 卓上形
	4. 時 計 表 示 装 置	・ 親時計 ・ ラック形 ・ 壁掛形 ・ 子時計 ・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 天吊形 ・ アナログ ・ デジタル
備	5. 予 備 品	・ 電球・ヒューズ ・ 現用数の2倍 ・ 10個
	6. 電 球	・ 電球
テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. 同 軸 ケ ー ブ ル	・ 高周波同軸ケーブル (EM-nC-2E) ・ 8175Ωシールド同軸ケーブル (EM-S-nC-FB)
備	3. ア ン テ ナ	・ AU1形 ・ AU2形 ・ BS ・ 110° CS ・ 平板型 ・ AM
	4. アンテナ支持ボールの取付	・ 壁面 (点支持) ・ 自立 ・ A部の長さ m
備	5. 増 幅 器	・ 形式 ()
	6. 電 界 強 度 の 測 定	・ 要 ・ 不要
イン ター ホ ン 設 備	1. 工 事 範 囲	・ 配 管 ・ 配 線 ・ 機 器 等 取 付 ・ 撤 去
	2. 電 源 機	・ AC100V
備	3. 機 種	・ 電話形親機 ・ スピーカー形親機 ・ 電話形子機 ・ スピーカー形子機
	4. 通 話 網 方 式	・ 親子形式 ・ 相互式
備	5. 電 話 方 式	・ 同時式 ・ 交互式
	6. 電 話 機	・ 電話機

火災報知設備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去					
	2. 自動火災報知設備	・ 受信機 P 型 線 回路 ・ G R 型 アドレス ・ 副受信機 線 回路					
	3. 非常警報装置	・ 自立型 ・ 壁掛型 ・ 発信器、ベル、表示灯等の形式 ・ 一体型 ・ 複合装置 ・ 単独型					
	4. 自動閉鎖設備	・ 防火戸 ・ 防火シャッター ・ 防煙ダンパー					
	5. ガス漏れ警報設備 (L P G)	・ 検知器 ・ 移動検点付 ・ 受信機 回路					
	6. 漏電火災警報設備	・ 1 級認定品 ・ 電球、ヒューズ、プロテクターは ・ 製造者の標準一式 ・ 工具は ・ 製造者の標準一式					
	7. 予備品						
警備配管設備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 呼び線挿入 ・ 撤去					
	2. 施工方法	※ 図面参照					
	3. 電源						
	4. 警戒方式						
構内配電線路	① 施工方法	・ 地中線保護方式 ・ 厚鋼電線管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 (外面一層型) ・ コンクリートトラフ ○ H I V E ・ 渡付硬質合成樹脂管 ○ 架空線電柱 ・ 遠心力鉄筋コンクリート柱 ・ 木柱 (注込柱) ・ パンザーマスト ○ 垂絡めつき鋼管ポール 電柱名札 ・ 要 ・ 不要 支 線 ○ 垂絡めつき銅り線 ・ 埋設深さ ・ G L - 6 0 0 ・ G L - 3 0 0 ・ 路盤下 - 3 0 0 以下 (道路を除く) ・ 道の記号表示 ・ 鋸型流込み ()					
	2. 地中箱						
① 機器取付高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。							
火災報知設備	名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)	
電 灯	吸引用計器	地上～窓中心	1,800	火災専用総合盤	床上～中心	800～1,500	
	引込開閉器	床上～中心	2,100	発信器	床上～中心	800～1,500	
	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	知ベ	床上～中心	2,300	
	スイッチ	床上～中心	1,300	発信器標準灯	床上～中心	2,100	
	コンセント (一般)	床上～中心	300	備ガス漏れ警報機 (LPG)	床上～器具上部	300以下	
	コンセント (和室)	床上～中心	150	壁掛形スピーカー	床上～中心	2,300	
	コンセント (台上)	台上～中心	150	壁付音量調節器	床上～中心	1,300	
	コンセント (土間)	床上～中心	800	表示器	床上～中心	2,300	
	ブラケット (土間)	床上～中心	2,100	フ	床上～中心	1,300	
	ブラケット (路場)	床上～中心	2,000～2,500	壁付押ボタン (一般)	床上～中心	1,300	
警 報	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150	" (身障者玄関)	床上～中心	900	
	身障者使用所作壁	床上～中心	1,100	" (多目的使用)	床上～中心	900/400	
	身障者使用所スイッチ	床上～中心	600～1,100	電 源 箱	床上～中心	1,500	
	壁掛形制音壁	床上～中心	1500 (上端1900以下)	壁掛形時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	手元開閉器	床上～中心	1,500	子 時 計	床上～中心	2,300	
	操作スイッチ	床上～中心	1,300				
電 話	端子壁 (EPS)	床上～中心	1500 (上端1900以下)	インタリホン設備	壁付イン・む (一般)	床上～中心	1,500
	端子壁 (室内)	床上～下端	300		壁付イン・む (身障者)	床上～中心	1,100
	保安器箱	天井下～上端	200		壁付位置ボックス	床上～中心	300
	取付位置ボックス	床上～中心	300		壁付位置ボックス (和室)	床上～中心	150
	取付位置ボックス (和室)	床上～中心	150	ネレレ共受受信	機 器 収 納 箱	天井下～上端	200
	壁付電話機	床上～中心	1500		直 列 ユ ニ ッ ト	床上～中心	300
受 信 機	接地端子箱	地上、床上～中心	500		直列ユニット (和室)	床上～中心	150
② 配線記号その他 ※ 図中配線で法記入のないものは、下記による。又、非環境対策型電線・ケーブルの場合はVを追記する。(例 V F) イ. 電灯設備の場合 電線管は ・ 薄鋼 ・ わなし とする。 $\frac{1.6 \times 2 (19)}{H} \frac{1.6 \times 3 (19)}{H} \frac{1.6 \times 4 (25)}{H} \frac{2.0 \times 2 (19)}{H}$ $\frac{1.6 \times 5 (25)}{H} \frac{1.6 \times 6 (25)}{H} \frac{H}{H} \frac{HIV2, 0 \times 2 (19)}{H}$ $\frac{F2}{F4} \frac{EEF1, 6-2C}{F3} \frac{F3}{EEF1, 6-3C} \frac{F2E}{EEF1, 6-2C IE1, 6}$ $\frac{F4}{F6} \frac{EEF1, 6-2C \times 2}{EEF1, 6-3C \times 2} \frac{F5}{F7} \frac{EEF1, 6-2C + EEF1, 6-3C}{EEF1, 6-3C + EEF1, 6-2C \times 2} \frac{2F2}{2F3} \frac{EEF2, 0-2C}{EEF2, 0-3C} \frac{2F2E}{EEF2, 0-2C IE1, 6}$ ロ. 動力設備の場合 $\frac{1.6 \times 3 (19)}{H}$ ハ. 電気計装・拡声設備の場合 $\frac{1.2 \times 2 (19)}{H} \frac{1.2 \times 3 (19)}{H} \frac{1.2 \times 5 (19)}{H}$ ※ 照明器具用設置ボックスの位置 ・ 非常照明用白熱灯組込器具 (電源別置) には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。 ※ 予備電源別置型の非常照明は、器具内の送り端子を使用時は、配線と同様・耐熱耐燃級を満足すること。 上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し、端配線処理を行うこと。							
工事名	福富南公園トイレ改築工事				N o.		
図面名	岡山市建築設備工事 (電気) 仕様書				E-00		
岡山市 都市整備局 住宅・建築物 公共建築課	令和8年5月						
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)	
電気配線	引 取 用 計 器	地上 ～ 窓中心	1,800	火 災 警 報 機・副 受 信 機	床 上 ～ 中 心	800～1,500
	遮 断 引 込 閉 閉 器	床 上 ～ 中 心	2,100	以 外 警 用 総 合 盤	床 上 ～ 中 心	800～1,500
	分 電 盤	床 上 ～ 中 心	1,500(上端1,900以下)	報 知 警 報 器	床 上 ～ 上 端	800～1,500
	ス イ ッ チ	床 上 ～ 中 心	1,300	知 べ ル	床 上 ～ 中 心	2,300
電	コンセント（一般）	床 上 ～ 中 心	300	設 免 信 器 導 線 灯	床 上 ～ 中 心	2,100
	コンセント（和室）	床 上 ～ 中 心	150	機 対 入 線 警 報 機 (LP)	床 上 ～ 器 具 上 部	300以下
	コンセント（台上）	台 上 ～ 中 心	150	望 遠 鏡 スピーカー	床 上 ～ 中 心	2,300
	コンセント（土間）	床 上 ～ 中 心	800	望 付 音 量 調 節 器	床 上 ～ 中 心	1,300
灯	ブラケット（土間）	床 上 ～ 中 心	2,100			
	ブラケット（露場）	床 上 ～ 中 心	2,000～2,500			
	ブラケット（鏡上）	鏡 上 端 ～ 中 心	150			
	身障者便所操作盤	床 上 ～ 中 心	1,100			
助力	身障者便所スイッチ	床 上 ～ 中 心	600～1,100			
	壁 掛 形 制 時 座	床 上 ～ 中 心	1500(上端1900以下)			
	手 元 開 閉 器	床 上 ～ 中 心	1,500			
力	操 作 ス イ ッ チ	床 上 ～ 中 心	1,300			
電	端子盤（E P S）	床 上 ～ 中 心	1500(上端1900以下)			
	端子盤（室内）	床 上 ～ 下 端	300			
	保 安 器 箱	天 井 下 ～ 上 端	200			
	取 付 位 置 ボ ッ ク ス	床 上 ～ 中 心	300			
話	取 付 位 置 が 7 ヲ (和室)	床 上 ～ 中 心	150			
	望 付 電 話 機	床 上 ～ 中 心	1500			
受 信 機	接地端子箱	地上、床 上 ～ 中 心	500			



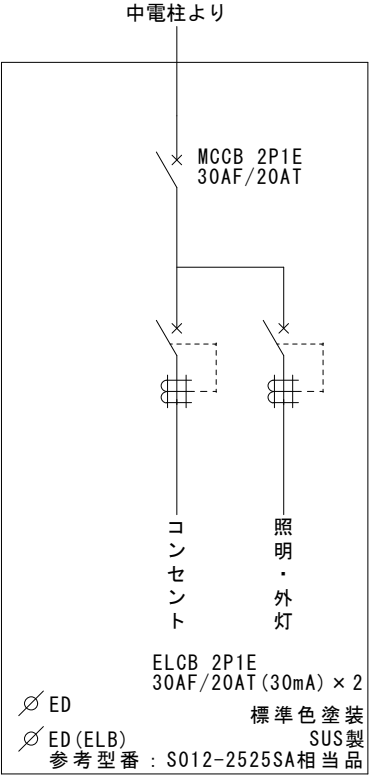
工事名	福富南公園トイレ改築工事				No. E-01		
図面名	配置図			縮尺 1/300			
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	承認	機関	製図
課長	課長補佐	係長	課員	担当者			



凡例

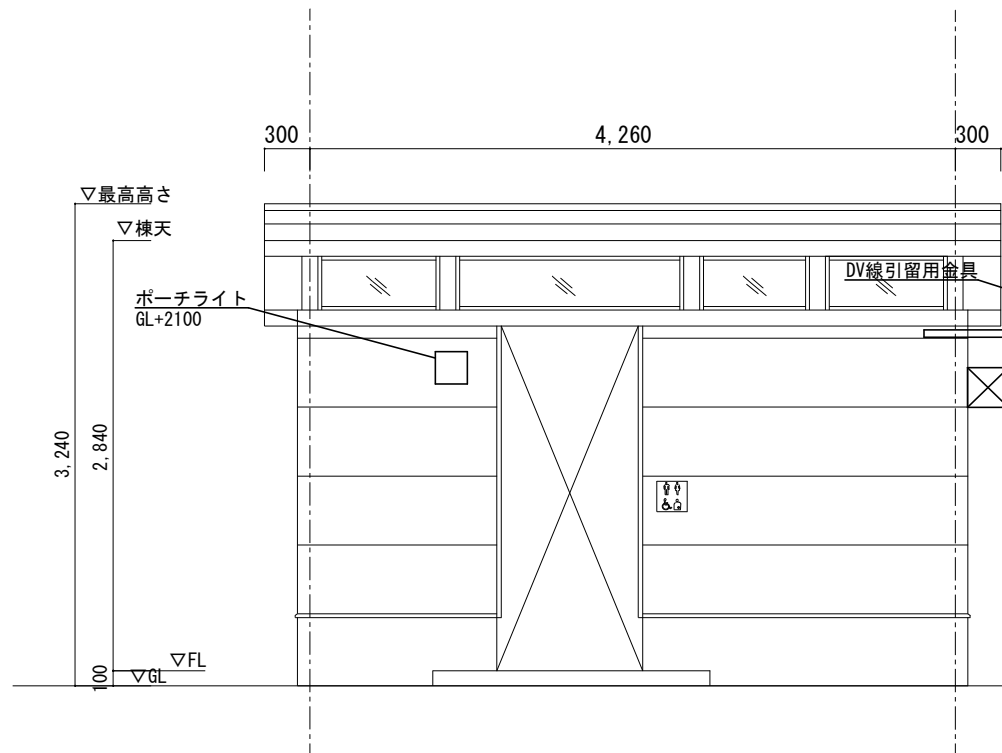
	照明器具 ウォールライト
	照明器具 ポーチライト
	開閉器箱（一般形） 標準色塗装 参考型番：S012-2525SA 鍵付 SUS製 250×250×120（鉄製基盤）メーカー市販品可
	便器洗浄ユニット盤 埋込コンセント2P15Ax1 (EET) 収納ボックス 鍵付 SUS製 (H300xW200×D120) 参考型番:S012-23SA
	ブルボックス 150□×150 SUS WP（引込金具→ブルボックス）
	アウトレットボックス

照明器具参考姿図 S-Free	
ポーチライト 40形電球1灯器具相当 参考品番 LGWC80320KLE1	H f 16W1灯器具相当 ウォールライト 参考品番 NNFS21811CLE9
壁直付型、防雨型、明るさセンサ付 器具光束3171lm、消費電力7.1W 【設定】「お出迎えモード」とし、お出迎え時間を「明るくなるまで」に設定すること。	防雨型、ひと（熱線）センサ・EETセンサ付（ON/OFF型） 壁直付型 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間 器具光束1470lm 【設定】「点灯保持時間」は6分（原則）に設定すること

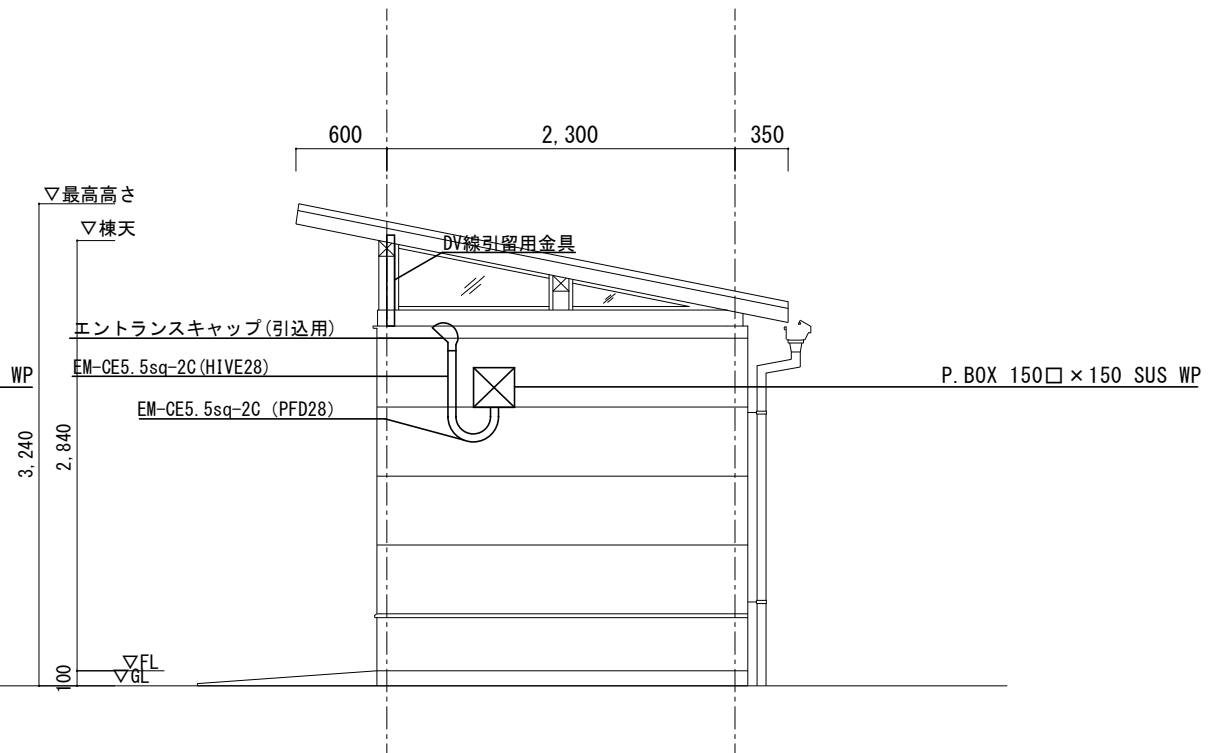


開閉器箱 参考単線結線図

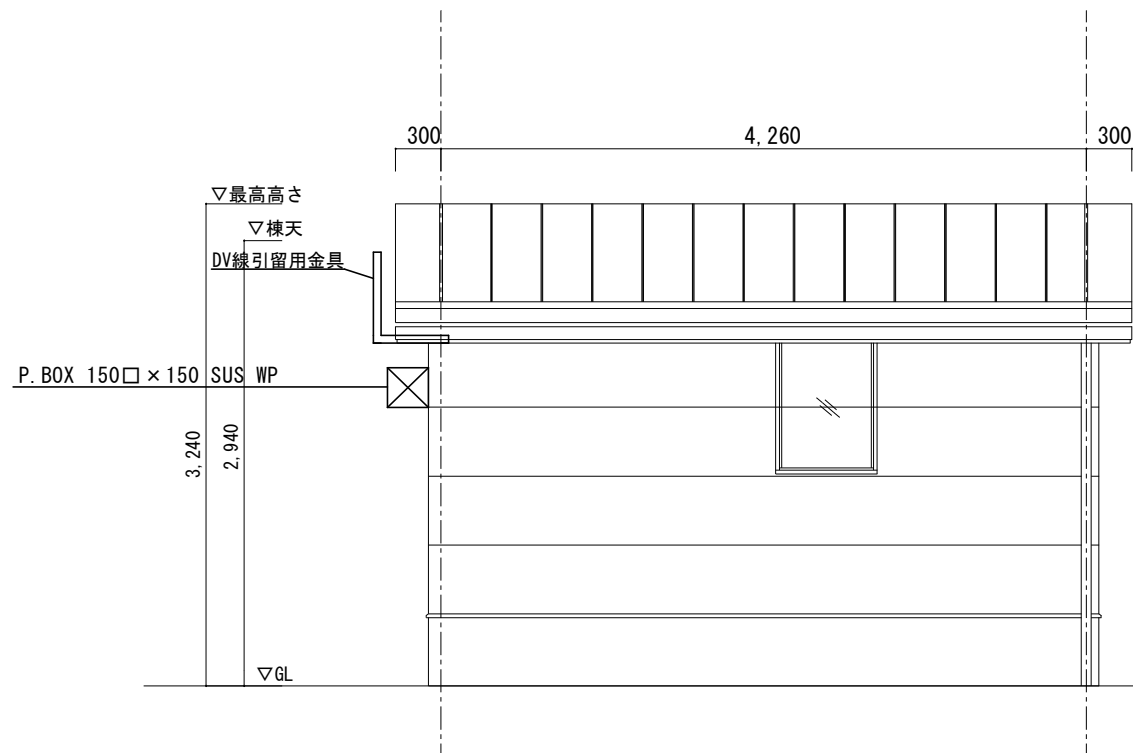
工事名	福富南公園トイレ改築工事				No. E-02			
図面名	平面図			縮尺		1/30		
岡山市	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



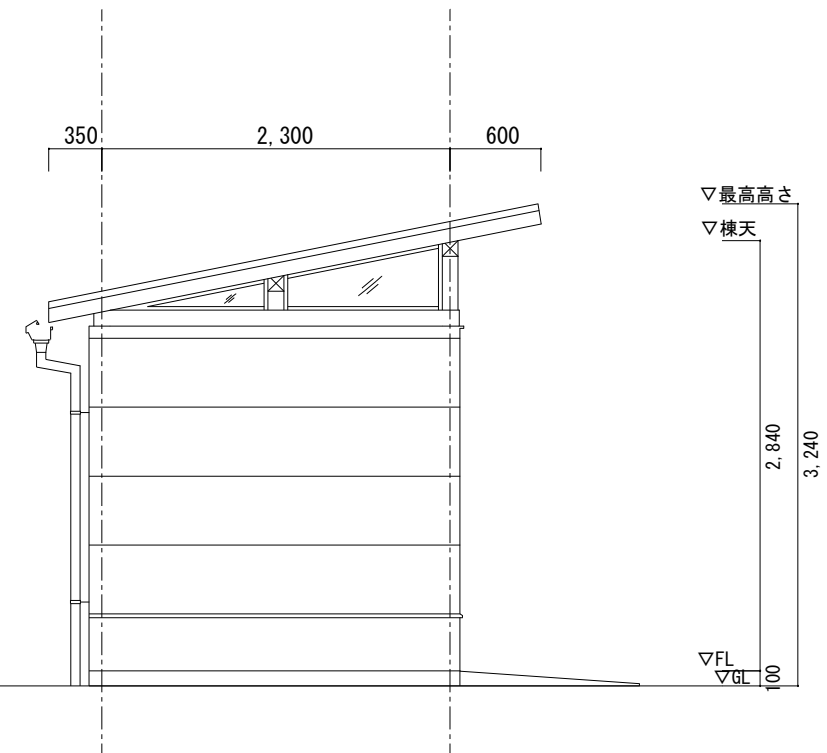
東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

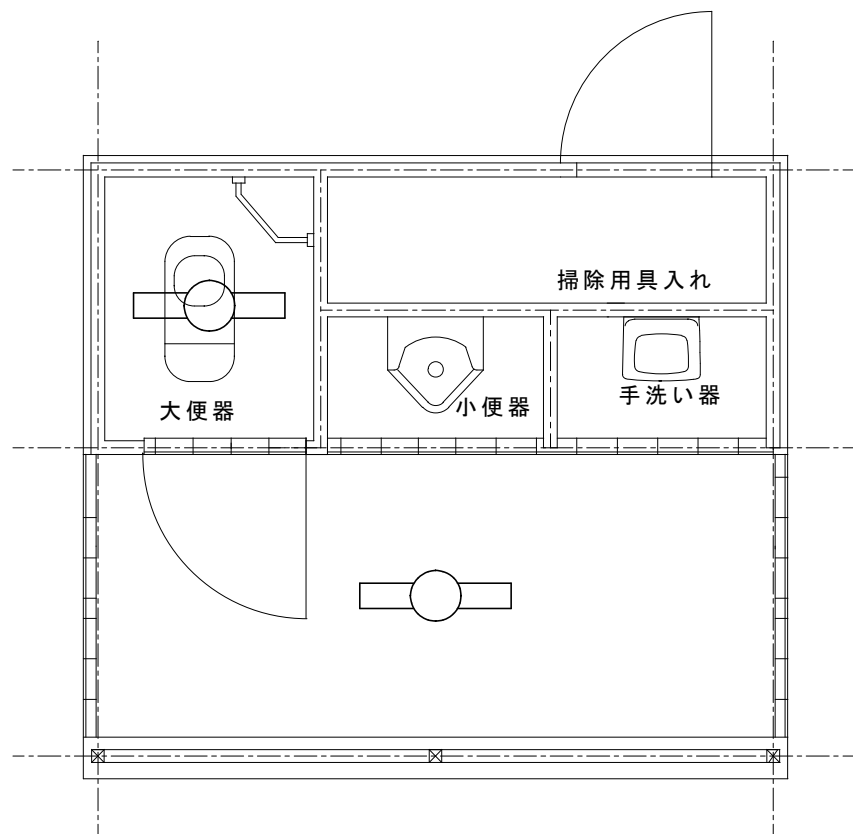


西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50

工事名	福富南公園トイレ改築工事				No. E-03		
図面名	立面図	縮尺	1/50				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	承認	検図	製図
課長	課長補佐	係長	課員	担当			



平面図 S=1/30

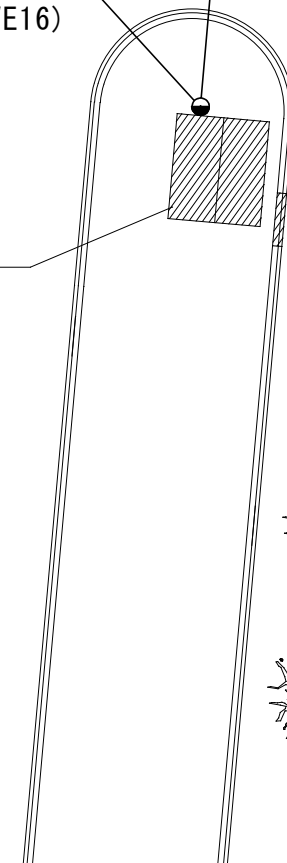
凡例

	照明器具 FL20W×1 撤去
--	-----------------

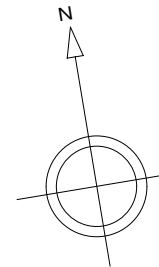


【撤去】引込柱
引込金具→【撤去】CV2.0sq-2C(VE16)

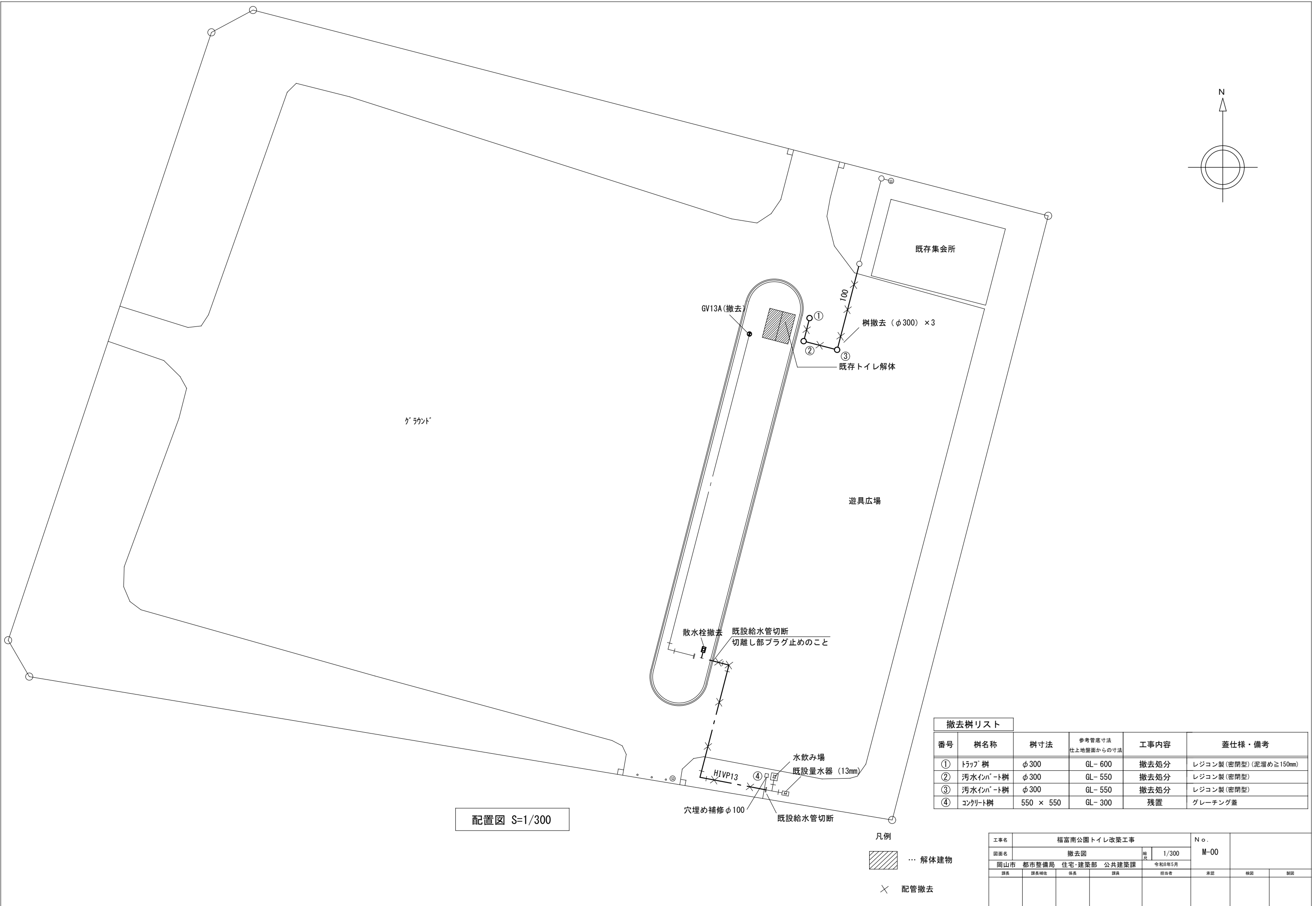
既存トイレ解体



外構撤去図 1/200

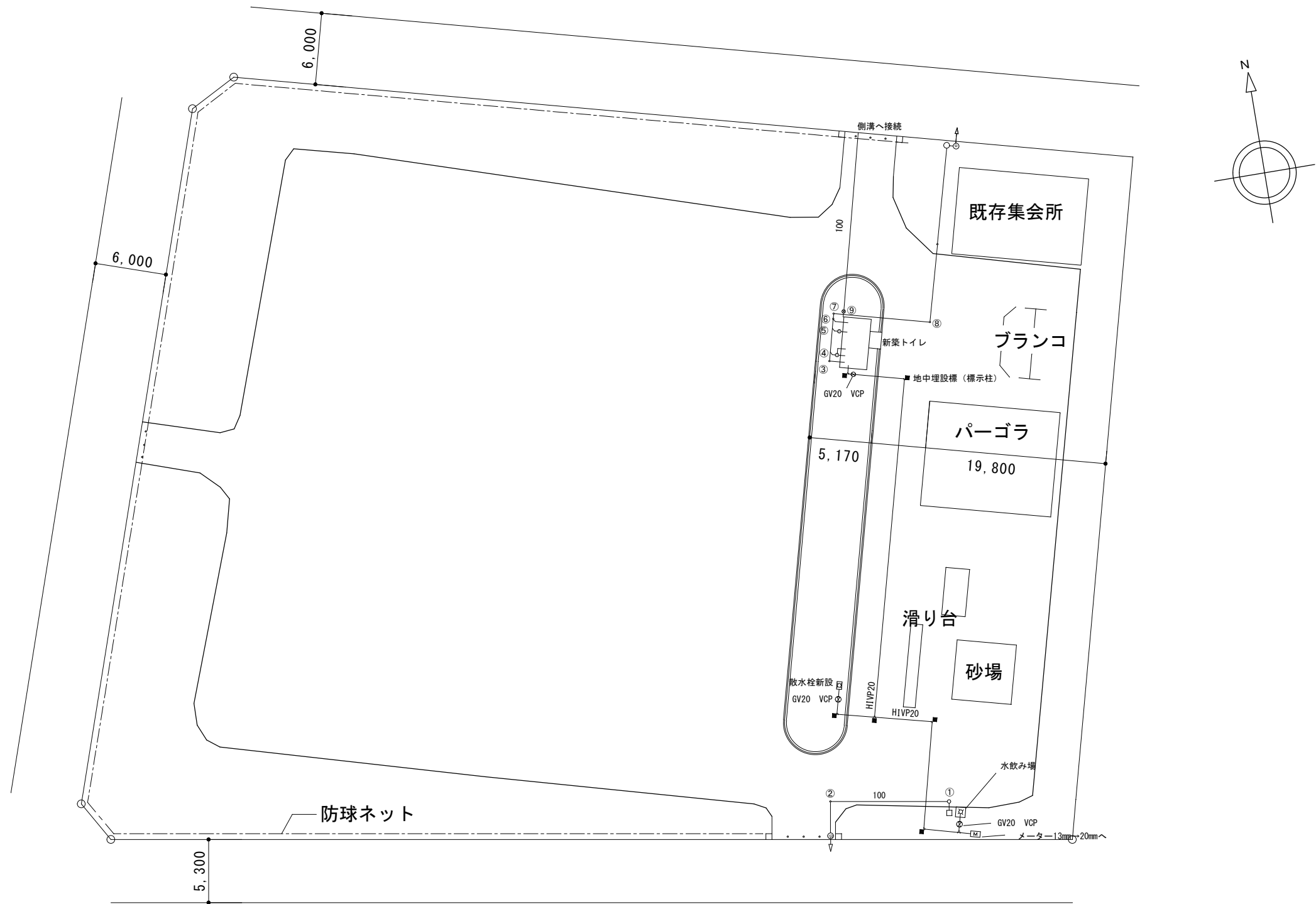


工事名	福富南公園トイレ改築工事				No. E-04		
図面名	撤去図		縮尺	1/30、1/200			
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	承認	検図	製図
課長	課長補佐	係長	課員	担当者			



撤去樹リスト					
番号	樹名称	樹寸法	参考管底寸法 仕上地盤面からの寸法	工事内容	蓋仕様・備考
①	トラップ 樹	φ300	GL- 600	撤去処分	レジコン製 (密閉型) (泥溜め ≥ 150mm)
②	汚水インハート樹	φ300	GL- 550	撤去処分	レジコン製 (密閉型)
③	汚水インハート樹	φ300	GL- 550	撤去処分	レジコン製 (密閉型)
④	コンクリート樹	550 × 550	GL- 300	残置	グレーチング蓋

工事名	福富南公園トイレ改築工事				No.			
図面名	撤去図			縮尺	1/300	M-00		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図



配置図 S=1/400

新設樹リスト					
番号	樹名称	樹寸法	参考管底寸法 仕上地盤面からの寸法	工事内容	蓋仕様・備考
①	トラップ 樹	φ 300	GL- 300	新設	レジンコン製 (密閉型) (泥溜め≧150mm)
②	汚水インパ ート樹	φ 150	GL- 410	新設	塩ビ製樹蓋 SUS製鎖付き
③	汚水インパ ート樹	φ 150	GL- 365	新設	塩ビ製樹蓋 SUS製鎖付き
④	トラップ 樹	φ 300	GL- 300	新設	レジンコン製 (密閉型) (泥溜め≧150mm)
⑤	トラップ 樹	φ 300	GL- 300	新設	レジンコン製 (密閉型) (泥溜め≧150mm)
⑥	汚水インパ ート樹	φ 150	GL- 405	新設	塩ビ製樹蓋 SUS製鎖付き
⑦	汚水インパ ート樹	φ 150	GL- 420	新設	塩ビ製樹蓋 SUS製鎖付き
⑧	汚水インパ ート樹	φ 150	GL- 520	新設	塩ビ製樹蓋 SUS製鎖付き
⑨	トリップ 樹	φ 300	GL- 300	新設	レジンコン製 (密閉型) (泥溜め≧150mm)

工事名	福富南公園トイレ改築工事				No.	M-01		
図面名	改修図			縮尺				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	担当者	承認	機関	製図
課長	課長補佐	係長	課員					

